

1973年水俣病関連の動き

年	月	日	新聞社	見出し
1973	3	1	熊日	行商人ルートから水俣病?、芦北町の二人が申請
1973	3	1	熊日	川崎医大でも水俣病の検診、大阪府が回答
1973	3	1	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(1) 水俣に住んでいるというだけで娘の縁談こわれた、東タミ(50)/長女の縁談こわれる/誤解とはいえ腹が立つ
1973	3	1	西日本	鮮魚商組合も要求、チッソに、販売減少の損害補償
1973	3	1	読売	終わりになき水俣病(3) ネコ400号、人生を変えた実験、発症つきとめる
1973	3	2	熊日	“PCB魚”は売れぬ、水俣鮮魚商組合、チッソに補償要求へ
1973	3	2	熊日	公調委の事実調査終わる、委任状の偽造問題
1973	3	2	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(2) 国連人間環境会議に出席した同級生に校内募金をした、塩崎達朗君(15)/悲惨なしのぶちゃん/力強く生きてほしい
1973	3	2	朝日	鮮魚商組合、近く要求、チッソへ損害賠償
1973	3	2	朝日	標的 ある人生
1973	3	2	読売	公調委が補充調査、委任状偽造
1973	3	2	読売	鮮魚商組合も賠償請求/水俣病、“汚染魚”売れない、県には海の浄化訴え
1973	3	2	読売	終わりになき水俣病(4) 見舞い金、どん底生活に涙金、痛恨の契約
1973	3	2	毎日	公調委が再調査
1973	3	2	毎日	水俣湾のヘドロ処理で予算計上、熊本県
1973	3	2	毎日	「魚売れぬ」補償を、鮮魚商組合チッソへ
1973	3	2	毎日	小、中学校で“公害授業”、写真教材が完成、教組
1973	3	3	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(3) 患者との地獄の底までのつきあいを宣言した、赤崎覚さん(46)/患者の苦しみハダで/公務員のワク越えて
1973	3	3	読売	終わりになき水俣病(5) 分裂/一任派の不安、「判決との差額どうする」
1973	3	3	毎日	“水俣病授業”始まる/熊本県教組が写真教材/悲惨に目クギづけ、判決控え、“公害の原点”訴え/45分間ではとても、先生の反省
1973	3	4	熊日	水俣病患者が死亡、調停派の福山さん、六十七人目に
1973	3	4	熊日	“双方、判決に従って”、意見を聞く会開く、水俣を明るくする連絡協
1973	3	4	熊日	水俣湾周辺の魚介/危険去らぬ?水銀汚染/昨年発症の新患者、“43年から大量に食べた”/慢性型の疑い強まる/国が総合対策を、沢田知事/慎重に検討したい/行政指導に本腰入れて
1973	3	4	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(4) 法律事務所で弁護団の手伝いをしている、出口仁美さん(19)/やりがいのある仕事、公害の恐ろしさひしひし
1973	3	4	西日本	いまなお続く、水俣病の恐怖/昨年春から典型症状、水俣市で新患者、遅発か継続摂取か/解説 微量でもこわい水銀
1973	3	4	朝日	どう出る熊本水俣病判決/争点は過失の範囲、請求金の認め方も注目/熊本訴訟の場合/因果関係証明の限界を明示、疫学の確立/無過失責任に近づいた立場、過失論/慰謝料と逸失利益まとめて、認定額/
1973	3	4	朝日	「双方とも控訴しないで」、「水俣を明るくする会」が裁判で意見
1973	3	4	朝日	水俣病で67人目死ぬ
1973	3	4	朝日+	3大公害判決をふりかえりつつ、企業追及する裁判所/環境破壊、55年の姿、各県別の詳報/症状の概略
1973	3	4	読売	水俣市民やっと立ち上がる、「チッソには判決に従え」
1973	3	4	読売	67人目の死者、水俣病患者
1973	3	4	読売	終わりになき水俣病(6) 訴訟、怨念のシワ深く、「卑劣な」会社見限る
1973	3	4	毎日	明るい水俣市づくりで話合う
1973	3	4	毎日	水俣病患者また死亡
1973	3	5	朝日	水俣判決後すぐ交渉、対チッソ、訴訟・自主交渉派
1973	3	5	日経	水俣病、昨年も発症、周辺の魚類、今なお危険
1973	3	5	毎日	判決後、すぐ東京交渉、水俣病訴訟派が決める
1973	3	5	熊日	21日、チッソ本社で交渉、判決後の行動決める、自主交渉派も共同闘争/水俣病訴訟
1973	3	5	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(5) 34年、漁協組合長としてチッソ工場に乗り込んだ、竹崎一巳さん(56)/チッソ告発に闘志、忍び、耐えて今なお
1973	3	5	熊日	いのちは償えるか、水俣病裁判の判決を前に、第3部(1) 新しい出発点、過去の法概念破
1973	3	5	読売	水俣判決直後に怨念集会、原告ら決める
1973	3	5	読売	終わりになき水俣病(7) 内部告発、「水銀が飛び散る」、元職長怒りの証言
1973	3	6	西日本	熊本県が突き返す、日本合成の水銀排出量報告書、推定だけでズサン
1973	3	6	読売	新任停車の申請受理、公害調整委
1973	3	6	熊日	控訴せぬよう説得、水俣病裁判で会社側に、三木長官が示唆
1973	3	6	熊日	万人を裁くことば、山本茂雄編、愛しかる生命いだきて、水俣の証言
1973	3	6	熊日	公調委が申請受理、水俣病第七次認定患者、損害賠償の調停
1973	3	6	熊日	水銀流出量は0.3トン/日本合成熊本工場/県公害局が公表、県議会厚生委、数値に疑問の点も
1973	3	6	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(6) 水俣に住んで患者たちをカメラで追いつづける、塩田武史さん(27)/患者と一緒に生活、写真通して結び合う
1973	3	6	西日本	控訴しないよう会社を説得、水俣病で三木長官語る
1973	3	6	西日本	いのちは償えるか、水俣病裁判の判決を前に、第3部(2) 深き淵/“勝った”と言わなくて、どうしようもない現実
1973	3	6	朝日	健康維持が重要、水俣患者、賠償ではすまぬ、三木長官答弁
1973	3	6	朝日	27人の申請受理、新認定患者
1973	3	6	朝日	“チッソ告発”の2社員、低いボーナス査定/「不当な差別」と提訴へ
1973	3	6	読売	チッソは控訴断念を、水俣病、不利な判決でも、三木長官表明/願ってもない発言、喜ぶ患者
1973	3	6	読売	終わりになき水俣病(8) ある弁護士、西田証言を崩す、金策には弱い“正義の騎士”

1973	3	6	毎日	チッソは控訴せぬよう、20日の水俣病判決、三木長官が働きかけ
1973	3	6	毎日	判決後、直ちに東京で交渉、水俣病訴訟派
1973	3	6	毎日	27人の補償調停申請を受理、第七次水俣病認定患者
1973	3	7	熊日	タコソボ千個を海へ、水俣市、沿岸漁業の振興で
1973	3	7	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(7) 胎児性ら身障児の教育に取り組んでいる、海江田秀雄さん(50)/身障の子らに夢を、一緒になって訓練
1973	3	7	熊日	“証言”で不当な差別、チッソの二従業員、ボーナスの査定
1973	3	7	西日本	いのちは償えるか、水俣病裁判の判決を前に、第3部(3) ある青春/闘いと共に自活の願い/閉ざされた心を開く
1973	3	7	朝日	つくなえぬ少女の心/水俣判決を前に、坂本さん宅での一週間/奪われた青春、仲良しが“通訳”、代筆、同じ病の二人が支え/「先生キライ、バカにする」、冷たい学校/「裁判勝っても喜べん」、悲しみ新た、長女の写真、母親の嘆き
1973	3	7	朝日	認定患者は397人、6派に分れ補償交渉
1973	3	7	朝日	水俣ヘドロ流出、チッソの排水溝工事、水俣
1973	3	7	読売	チッソから水銀流出、排水溝工事、ヘドロ捨てる
1973	3	7	読売	終わりになき水俣病(9) 一株運動、最後まで手放さぬ、倒産決議防ぐため
1973	3	7	毎日	有機水銀流出の恐れ、新日室労組、排水こう工事中止を申入れ
1973	3	8	熊日	“証言”で不当な差別、チッソの二従業員、ボーナスの査定
1973	3	8	熊日	水俣病患者に愛の手、各種団体代表、「はまゆう会」を結成
1973	3	8	熊日	チッソとも公害防止協定/水俣市が強い方針/工程厳しく監視、市長表明、“会社寄り”の姿勢改め/細目話し合う、チッソ側意向示す
1973	3	8	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(8) 「水俣病は誤解されている」と全国からアンケートをとった、宮崎正吾さん(30)/70%が水俣を誤解、沈滞ムードの打破を
1973	3	8	西日本	いのちは償えるか、水俣病裁判の判決を前に、第3部(4) 遺影は見つめる/10年たちあわがる、おっどんが正しか
1973	3	8	朝日	判決迫る、水俣病(1) あばかれたウソ/機密破った二文書、たれ流し水銀総量公式報告の7.5倍、偶然が助けた証拠、食違う損失水銀量、試算公表せぬ通産省、知らぬは国民ばかり
1973	3	8	朝日	声 水俣病の罪消えぬ、企業・政府に自覚促す
1973	3	8	読売	終わりになき水俣病(10) 天草にも、11年間ひた隠し、「社会不安を招く」
1973	3	9	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(9) 定期的に胎児性の子どもたちを訪れ慰問している、堀川真知子さん(20)/何かをしなければ、「苦海浄土」で湧いた怒り
1973	3	9	西日本	いのちは償えるか、水俣病裁判の判決を前に、第3部(5) 破られた定説/認定患者、氷山の一角、発病、いまもなお
1973	3	9	朝日	判決迫る、水俣病(2) かつがれた学者/学説対立と追及かわす/業界が研究結果を悪用、しりつばみの原因調査
1973	3	10	熊日	水俣映画「実録公調委」が完成
1973	3	10	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(10) 一枚の招待状で水俣病裁判勝利決起集会に参加した、浦島敬之さん(59)/立上られ地元市民、あまりにも薄い関心
1973	3	10	西日本	いのちは償えるか、水俣病裁判の判決を前に、第3部(6) 助っ人たち/戦争ぎらいの戦争や、私は支援者でなく同行者
1973	3	10	西日本	判決迫る、水俣病(3) 施設五課の証言/技術の裏側めぐりだす/髪のに水銀バラバラ、「殺人者の片割れたい」
1973	3	10	読売	水俣病を告発する会、二次訴訟に“離縁状”/「自主交渉派孤立をねらう、弁護団の画策だ」、機関紙で発表
1973	3	10	読売	終わりになき水俣病(11) 水銀の海、ままたらぬ除去、「判決は出発点だ」
1973	3	10	毎日	ねらわれる賠償金、水俣病の判決前に、金融機関は勧誘合戦、水俣市
1973	3	11	熊日	水俣病判決/控訴せぬよう勧告を、明るくする会、市議会に陳情書提出
1973	3	11	熊日	耳袋(判決に関する三木長官の発言)
1973	3	11	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(11) 医局員時代から現地で患者を診察し続けた、平原輝雄さん(32)/行政の怠慢に怒り、まだいる未申請患者
1973	3	11	西日本	判決に従うよう市が勧告を、「水俣を明るくする市民連絡協」が陳情書
1973	3	11	西日本	いのちは償えるか、水俣病裁判の判決を前に、第3部(7) 新潟からの手紙/全額補償こそ唯一の道、判決後も苦痛消えぬ
1973	3	11	朝日	水俣汚染、単独説に反論、記事載せた週刊紙、第二組合系が配布
1973	3	11	朝日	判決迫る、水俣病(4) 隠され患者、“恐怖のデータ”黙殺、本格一斉検診に15年の空白
1973	3	11	朝日(東京)	傍聴券待ち徹夜の行列、水俣病裁判
1973	3	11	東京(夕)	“チッソ、ニクカ……”/水俣病児のしのぶさん/カラダ、モドチテ、判決前に訴える、首相もミテホシカ
1973	3	11	読売	水俣判決受諾を市会に陳情、明るくする会
1973	3	11	毎日	早々と、すわり込み、水俣病裁判、傍聴券確保に学生ら
1973	3	11	毎日	水俣判決、双方とも控訴せぬよう勧告を、水明会が市議会に陳情書
1973	3	11	毎日	離島の水俣病患者、映画「不知火海」に、東プロ
1973	3	11	毎日	県が初の“患者検診”、水俣病救済に予算くむ、熊本
1973	3	11	毎日	「生まれ変わって走りまわりたい」、水俣病判決を前に/しのぶちゃん(胎児性患者)が胸のうち/声の録音で涙の訴え
1973	3	12	西日本	新潟水俣病、来月末までに修正案、昭電、自主交渉派と話し合い
1973	3	12	日経	新潟水俣病、補償案修正の意向も、昭電、自主交渉派に示す
1973	3	12	読売	傍聴権入手へ早くも座込み、熊本地裁、20日の水俣病裁判
1973	3	12	熊日	22日から東京交渉、水俣病訴訟派、判決後の行動で確認
1973	3	12	熊日	早くも泊り込み、水俣病裁判、学生らが傍聴券獲得で、熊地裁玄関

1973	3	12	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(12) 水俣病研究に尽くした夫の霊を慰めながら静かに判決を待っている、細川光子さん(65)/懸命に勉強した夫、判決、複雑な気持ちで待つ
1973	3	12	熊日	水俣病訴訟支援県民会議から、「告発する会」が脱会、新たな政治闘争に発展か/ 解説 二次訴訟をめぐる対立
1973	3	12	西日本	9日前から学生が列、熊本地裁、水俣病判決の傍聴券
1973	3	12	西日本	いのちは償えるか、水俣病裁判の判決を前に、第3部(8) 世界の目/ノー・モア・ミナマタ、いまや地球の課題に
1973	3	12	朝日	早々、傍聴券に行列、水俣病判決の熊本地裁
1973	3	12	朝日	判決迫る水俣病(5) 白紙委任/裏切られた患者ら、異議もいえずつもの不信感/人間を魚と同じに、第三者機関を設立、警戒心に猛説得、確約書が心しぼる、最後のよりどころ
1973	3	13	読売	水俣病訴訟派、判決後、3派に分かれて行動
1973	3	13	熊日	患者さん、入所にソッポ、ガラ空き「明水園」、開園三カ月、赤字七百万円に、水俣
1973	3	13	熊日	“水俣病”などを展示、第19会教育祭開く
1973	3	13	熊日	読者のひろば 裁判に全県民の注目を、水俣病裁判は人権裁判
1973	3	13	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(13) 水俣病センターの賛同者として患者を支援する、池内彦繁さん(50)/胸に迫る家族の偉さ、チッソは誠意を示せ
1973	3	13	熊日	判決後に反応表面化?、「告発する会」の県民会議脱会、ショックを受けた患者
1973	3	13	熊日	水俣病患者に憩いの場/遠見の家・若衆宿/心の触れ合い図る、支援者らが好意で提供
1973	3	13	熊日	黙鼓子 水俣病訴訟支援県民会議から告発する会が脱退
1973	3	13	西日本	裁かれるか「公害の原罪」/20日に水俣病判決/熊本地裁/「“本質”をそらすな」、原告/見舞金契約にかける、被告/法廷から/四大公害裁判の比較
1973	3	13	西日本	水俣病支援、県民会議が分裂、「告発する会」が退席
1973	3	13	西日本	チッソと“公害”協定、市長表明、水俣市、近く申し入れ
1973	3	13	朝日	22日から自主交渉、訴訟派、チッソと
1973	3	13	朝日	支援会議が“分裂”、水俣病、告発する会が脱退声明
1973	3	13	朝日	告発の会、席ける、判決意味めぐり激論、支援団体会議
1973	3	13	朝日	チッソと公害協定へ、水俣市長
1973	3	13	朝日	判決迫る、水俣病(6) 心の病/四分五裂の患者ら、がんじがらめの利害・感情・圧力
1973	3	13	朝日(東京)	公調委の姿勢浮彫り、「水俣」の土本監督が新作
1973	3	13	東京	水俣病支援の県民会議分裂
1973	3	13	読売	判決後、3派で行動、訴訟派
1973	3	13	読売	市、水俣病掘り起こし、水俣、県が検診しない地区で
1973	3	13	読売	チッソと公害防止協定、水俣市長、今月中にも申し込み
1973	3	13	毎日	水俣病支援県民会議、告発する会が脱会、「勝った」などの評価許せぬ
1973	3	13	毎日	17日に総決起集会
1973	3	13	毎日	市がチッソと公害防止協定
1973	3	13	毎日	チッソが費用負担、水俣湾の水銀ヘド口除去、熊本県と関係省庁協議
1973	3	13	毎日	水俣病で質問、水俣市議会再開
1973	3	14	朝日	告発する会が県民会議脱退、水俣病支援
1973	3	14	熊日	水俣病患者に憩いの場/遠見の家・若衆宿/心の触れ合い図る、支援者らが好意で提供
1973	3	14	毎日	低調な代表質問、県議会、項目多く迫力欠く
1973	3	14	熊日	水俣病訴訟支援県民会議から/「告発する会」が脱会/“党派介入”に強く反発/ 解説 二次訴訟をめぐる対立
1973	3	14	熊日	水俣病、理解の手引き書/公害の実態知るために/患者の苦悩克明に、「苦海浄土」、「公害の政治学」、「水俣病」、学問的に鋭く“告発”
1973	3	14	熊日	3.20水俣病判決、私とのかかわり(14) 水俣に住み着き患者とつき合いながら百姓志願中の、砂田明さん(44)/いまだに国への幻想、本質見ぬ水俣市民
1973	3	14	西日本	水俣病センター設立に役/「水色の羽根買って」、熊本の田中さん、全国に支援呼びかけ
1973	3	14	西日本	いのちは償えるか、水俣病裁判の判決を前に、第3部(9) チッソ語録/謝罪と開きなおりと、道義責任と法律責任は別
1973	3	14	朝日	“水俣判決”迫る/自炊をして傍聴券待ち
1973	3	14	朝日	公正な判決望む署名簿を提出、水俣病裁判で県民会議
1973	3	14	朝日	患者求償を優先、熊本県知事が意向、県支出の対策費で/水俣病
1973	3	14	朝日	水俣病多発地区で公害授業
1973	3	14	朝日	判決迫る、水俣病(7) 裁判の意味/判決後こそ復権の場、訴訟に求めたものは“道理”
1973	3	14	読売	水俣支援運動が分裂、告発する会、県民会議を脱退
1973	3	14	読売	熊本地裁へ署名そえ要望書、県民会議
1973	3	14	毎日	5月2日初公判、川本被告の暴行事件
1973	3	14	毎日	患者の心大切に、県民会議脱会めぐる声、水俣病を告発する会
1973	3	14	毎日	前日に集会、デモ、水俣病訴訟支援県民会議
1973	3	14	毎日	三つどもえの報道戦、水俣病判決日のラジオ、テレビ
1973	3	15	熊日	水俣病裁判、いよいよ20日に判決/“汚悪水論”が焦点、3年9カ月ぶり、通るか無過失責任論/注目される「命の値段」/水俣病裁判の争点
1973	3	15	熊日	水俣病/その果てしない悲劇/水俣工場の生産量と患者発生の年次変化/魚介類、鳥、猫などの異常状態/水俣湾泥土層の水銀/キスの水銀含有量/認定患者派別
1973	3	15	熊日	“一斉検診、総合的に”、水俣病、医師団県知事に要望
1973	3	15	熊日	73図説くまもと/一見のどかな風景を見せる水俣湾だが.../不知火海周辺患者発生と汚染図
1973	3	15	熊日	水俣病、判決の周辺(1) 行政の厚い壁/病院をたらい回し、見捨てられた患者ら
1973	3	15	西日本	春秋 (塩田武史写真報告「水俣、深き淵より」)

1973	3	15	西日本	いのちは償えるか、水俣病裁判の判決を前に、第3部（10） 終わりなき闘い/節にすぎない裁判、チッソに免罪符与えるな
1973	3	15	朝日	検診やり直し要望、63人も？水俣病、県民会議医師団が知事へ
1973	3	15	朝日	山間部住民の健康も調査へ、水俣市
1973	3	15	朝日	判決迫る、水俣病（8） 逃げ回る司法/事実解く捜査なし、むなしくこだまする患者の怒り
1973	3	15	読売	水俣病、「県の検診はズサン」、県民会議医師団が指摘
1973	3	15	毎日	水俣病裁判20日に判決/届くか.....患者の叫び/チッソの法的責任は？、“見舞金契約”の有効性にも断/水俣病裁判の争点/水俣病年表/患者400人、6派に分裂、「苦しみは、いっしょだが
1973	3	15	毎日	その日を待つ二人/水俣判決あと5日/斉藤次郎裁判長、思慮深いガンコ者/千場茂勝弁護士事務所局長、血の叫びの代弁者
1973	3	15	毎日	県の検診は不十分、医師団地元漁民、水俣患者発見を要求
1973	3	16	熊日	映画「水俣病レポートNO1」十七日に公開、県福祉会館
1973	3	16	日経	水俣病、判決迎える“死の海”（上） 「たとえ勝っても」、戻らぬ平和な生活、妻も子も孫
1973	3	16	読売	「検診ズサン」県に抗議、県民会議医師団
1973	3	16	読売	県警に構内待機を要請、熊本地裁
1973	3	16	熊日	地裁周辺で交通規制、県警、北署、水俣病裁判の警備計画
1973	3	16	熊日	県の一斉検診はズサン/県議会、水俣病対策で追求/あくまで基礎調査、水もれ防止へ体制作る、知事答弁/ 県会記者席 知事に写真見せ詰寄る
1973	3	16	熊日	公害授業/指導案例集できる、県教組、22日県下一斉に
1973	3	16	熊日	水俣病、判決の周辺（2） 体当たりで闘う患者/直接、チッソを“追及”、自主交渉派の川
1973	3	16	熊日	公害授業の中止を、県教組が明らかに、熊本市力合小、校長、担任に申入れ
1973	3	16	熊日	水俣病/地獄の苦しみ17年/（写真）
1973	3	16	西日本	水俣病、積極的に救済/知事、県の姿勢を示す、県議会一般質問二日目/補償の前進期待、ヘドロ処理早急に講じる/ 記者席 水俣病にかける/冷静慎重な知事
1973	3	16	西日本	海ばかりか空も汚染、チッソ隣接の丸島・汐見地区/水俣にゼンソクの追打ち/5.4人に1人の高率、市と青年グループ調査、市は施設改善申入
1973	3	16	西日本	「住むとこじゃなか」/水俣市丸島町を見る/襲いかかるガス、病院と縁切れぬ七世帯/木は枯れ、金魚死ぬ、関係認めぬ会社
1973	3	16	西日本	解説 水俣病の陰にかすむ、水俣市のゼンソク、迫られる行政の転機
1973	3	16	朝日	序幕に過ぎない判決/四大公害訴訟の周辺/崩せぬ追及の姿勢、住民の権利、どう発展させるか
1973	3	16	朝日	判決控え水俣病で論議/県議会、「行政責任に反省を」、革新系、「水に流し」と県援護、保
1973	3	16	朝日	水俣病授業に圧力、熊本市立の力合小学校、「教育課程にない」
1973	3	16	朝日	文化 水俣病と医学の接点/「患者に学べ」に戻って、変革迫られる安全基準、原田正純
1973	3	16	朝日	標的 一銭五厘の思想
1973	3	16	朝日	声 水俣病の子に教育を
1973	3	16	朝日	判決迫る、水俣病（9） 再建=脱出/逃げのびる大企業、自然環境や生物住民の命こわし
1973	3	16	朝日（東京）	傷跡いえぬ公害病患者/つらの病苦、生活苦、原告のすそ野でかんじゃ、死亡急増、判決は公害解消の起点/四大訴訟の現地を見る
1973	3	16	東京	チッソに隣接二地区/水俣、空も灰色、今度は“ゼンソク”、患者、五人に一人、大気汚染、十年も手を打たず/青年会議調査
1973	3	16	東京	黒い苦海、迫る水俣判決（中） 「青年と海」、25歳、やっと心開く/「漁師も養豚もやり
1973	3	16	東京（夕）	患者側の勝訴ほぼ確実/どう裁く“汚悪水論”、熊本地裁、見舞い金契約の効力も/水俣病訴訟20日に判決/立証責任の転機、企業ヘワクはめねらう/“汚悪水論”/ネコ実験隠し契約、会社
1973	3	16	読売	公害裁判に新たな方向？/水俣訴訟20日に判決/通るか「汚悪水論」（特定の原因物質を求めない方式）、原告、補償も「包括一律請求」
1973	3	16	読売	仮執行の準備始める、水俣訴訟、原告弁護士団
1973	3	16	読売	水俣湾のヘドロ/来月早々から処理/判決で補償前進期待、県会で知事答弁
1973	3	16	毎日	「補償問題の前進、期待」、知事、水俣病判決前に答弁、県議会一般質問
1973	3	16	毎日	「判決後の集団交渉実現に全力投球」、告発する会が郵送
1973	3	16	毎日	水俣病の子らに“口”や“手”を/教育研究センター設立へ/熊本県教委が方針
1973	3	17	熊日	事実上の弁護士タナ上げ/水俣病訴訟派/交渉は患者中心に、「告発する会」と同歩調/仮執行の成行き注目
1973	3	17	熊日	両団体、集会やデモ、判決日前後の支援行動
1973	3	17	熊日	“政党介入”は一方的見解、「告発」脱会、県民会議が反論
1973	3	17	熊日	水俣病/地獄の苦しみ十七年
1973	3	17	熊日	68人目の死亡患者
1973	3	17	熊日	読者のひろば 考えたい人間社会、水俣病判決を控え
1973	3	17	熊日	みなまたの母たち（上） 母の涙/一滴の重み
1973	3	17	熊日	水俣病訴訟を支えた人たち（1） 原告弁護士事務所局長、千場茂勝さん（46）/かつての職場を“告発”、自責の念が怒りへ
1973	3	17	熊日	水俣病、判決の周辺（3） 変ぼうするか“城下町”/複雑にからむ利害、反チッソへ、立上がる労働者達
1973	3	17	西日本	判決後は独自交渉、対チッソ、弁護士と決別、水俣病訴訟派
1973	3	17	西日本	判決後も患者支援、県民会議
1973	3	17	西日本	水俣病患者また死ぬ
1973	3	17	西日本	「集団移転したい」、水俣ゼンソク、丸島地区の7世帯/逃出す以外ない、市当局は慎重な態度/現段階で公表できぬ、熊本県、実態調査のデータ
1973	3	17	朝日	上訴権放棄せぬ、チッソ、結論、判決見ながら/判決後、弁護士とは別行動、水俣病訴訟派と自主交渉派
1973	3	17	朝日	放棄は考えぬ、上訴権、チッソ表明、水俣病裁判
1973	3	17	朝日	水俣病、告発する会の復帰を期待、県民会議が声明

1973	3	17	朝日	弁護団と別行動で、判決後の自主交渉、訴訟派などきめる
1973	3	17	朝日	大がかりな取材合戦、放送だけで約五百人、水俣公判
1973	3	17	朝日	自主交渉派の患者死ぬ
1973	3	17	朝日	完成した「水俣病レポート 実録公調委」/委任状の偽造問題通し、公調委の実態を描く
1973	3	17	東京	死者68人に、水俣病患者
1973	3	17	東京	黒い苦海、迫る水俣判決(下) 新しい故郷/重荷負う人の共同体/心の安息所にセンター構想/勝ちムードへ戒め、“業病”忘れさせぬ、終わりなき戦いへ
1973	3	17	読売	告発する会に復帰呼びかけ、水俣病県民会議
1973	3	17	読売	水俣病認定患者死ぬ
1973	3	17	日経	水俣病患者の死亡68人に
1973	3	17	日経	水俣病、判決迎える“死の海”(中) 企業の過失責任、「廃液流すだけで」通れば強力な
1973	3	17	毎日	弁護団とも“縁切り”、水俣訴訟派、判決後は自主交渉
1973	3	17	毎日	判決を新出発点に、きょう闘争貫徹市民集会、水俣病を告発する会
1973	3	17	毎日	脱会騒ぎで声明、水俣病訴訟支援県民会議
1973	3	17	毎日	公害裁判のゆくえ、水俣病判決を前にして、富樫貞夫/公害裁判に一つの段階/患者にとっては犯罪の告発/被害者が加害者にされる
1973	3	18	西日本	賠償のしわ寄せ警戒、新日窒労組方針、首切りには強力闘争
1973	3	18	毎日	水俣病、68人目の死
1973	3	18	熊日	121人が調停案受諾、公調委水俣病補償調停委、第9次の申請者
1973	3	18	熊日	水俣病訴訟派、弁護団との決別回避/「患者中心」で合意、市民会議が仲立ち/ 解説 なお消えぬ相互の不信
1973	3	18	熊日	“患者と共に闘おう”、告発する会、貫徹集会ひらく
1973	3	18	熊日	本田啓吉代表(熊本・水俣病を告発する会)に聞く/崩れてきた基本線、弁護団の態度にも疑
1973	3	18	熊日	“不控訴勧告”を可決、水俣市議会
1973	3	18	熊日	患者救済に万全期す、新日窒労組が闘争方針
1973	3	18	熊日	みなまたの母たち(中) 母性凌辱/届かぬ祈り
1973	3	18	熊日	水俣病訴訟を支えた人たち(2) 熊大体質医学研究所助教授、原田正純さん(38)/真実を目で見、確める、かりたてる医師の情熱
1973	3	18	熊日	水俣病、判決の周辺(4) 問われる日本の医学/原因究明だけに終始、放置された潜在患者
1973	3	18	西日本	控訴を断念か、水俣病訴訟、敗訴でも、チッソ首脳が意向
1973	3	18	西日本	判決には双方とも従え、水俣市議会決議
1973	3	18	西日本	二百人が市民集会、熊本で「告発する会」
1973	3	18	西日本	塩田武史さん判決前に写真集を出版/1人の人間として...、水俣に住んで“水俣”を撮る、苦悩の姿、3万枚
1973	3	18	西日本	被害者の立場で、22日の公害授業、教組が指導例を配布、熊本
1973	3	18	西日本	こだま 公害を真剣に考えて、補償金で“生命”は戻らぬ
1973	3	18	西日本	水俣病怨念の68柱/泣き叫び苦しんで
1973	3	18	西日本	弁護団は側面支援、患者側と話しつく、水俣病
1973	3	18	朝日	「告発する会」が決議集会
1973	3	18	朝日	明るくする連絡協の水俣病陳情を採択、水俣市議会
1973	3	18	朝日	水俣病センター資金に、「水色の羽根」募金を、熊本の商業デザイナーが訴え
1973	3	18	朝日	おてもやん 「イメージ作戦」の声
1973	3	18	朝日	声 水俣市は救われぬ、患者を傷つける考え方
1973	3	18	朝日(東京)	「原因ナゾ、責任なし」、チッソ編の水俣病史明るみに/秘かに発行
1973	3	18	読売	水俣病、肉親を健康を幸福を返せ、原告最終準備書面より/怒りと悲しみの声、3年9カ月に及ぶ訴訟/子供と心中の決意も、もう一度母と呼ばれたい/会社は良心取り戻せ、1日で話せない
1973	3	18	読売	「ほたるの光」歌えず...../水俣病訴訟判決の前日、しのぶさん卒業
1973	3	18	読売	弁護団と絶縁せぬ、水俣病訴訟判決後の態度決める
1973	3	18	読売	守る会が市民集会
1973	3	18	読売	あす公害の授業、県教組、水俣病の実態教える
1973	3	18	日経	水俣病、判決迎える“死の海”(下) 海面下にはまだ、不安残す潜在患者、いまだ解明できぬ治療法
1973	3	18	毎日	重い責任、問直せ!“水俣行政”/汚染全容を早急に、ヘドロ処理は国の力で/判決をひかえて/患者の認否、せめて半年内へ/まず、大規模開発対策
1973	3	18	毎日	告発する会が決起集会、水俣病、熊本市
1973	3	18	毎日	責任とり補償を、窒素労組が決議
1973	3	18	毎日	121人の調停成立、水俣補償第9次分、1人は次回持越し
1973	3	18	毎日	弁護団と絶縁せぬ、訴訟派が確認
1973	3	19	朝日	水俣病裁判あす判決、患者側「勝訴は確実」、賠償金額「新潟」超すか
1973	3	19	熊日	自家発電所を売却へ、チッソ、賠償金ねん出に
1973	3	19	熊日	きょう巣立つ胎児性の子ら/小さな願い満たす福祉を、閉じた将来へ不安、終らぬ水俣病を背負い/ことし卒業するのは三人/自立の芽摘む甘い同情/働き場のない重度障害児
1973	3	19	熊日	チッソ、控訴を断念、島田社長語る
1973	3	19	西日本	熊本春秋、(あす水俣病裁判の判決)
1973	3	19	日経	「汚悪水論」どう判断?、水俣病訴訟あす判決
1973	3	19	読売	その日43歳の誕生日、田上さん
1973	3	19	読売	水俣訴訟あす判決、3年9か月ぶりに、138人の勝訴は確実
1973	3	19	熊日	水俣病裁判/親子3代が犠牲になる/不知火海は掃除して返せ/“頼みのツナ”も昨年認定/メジロとりの名人だったが/両親の発病で破産同然/童謡が上手だったのに...../病死の父も水俣病の疑い/結婚話もおジャマンに

1973	3	19	熊日	水俣病裁判あす判決、提訴から3年9カ月ぶり/四大公害訴訟のしめくり/慌しい熊地裁周辺
1973	3	19	熊日	“ 怨 ” の原告30世帯/水俣病裁判
1973	3	19	熊日	採用困難か汚悪水論、水俣病裁判.....判決の焦点/見舞金契約、支払い分、差し引き？/調査義務の範囲拡大か、過失責任、部分的無効は確定的、見舞金契約、死者、超重症者は満額容認
1973	3	19	熊日	判決を待つ現地水俣/患者ら不安と闘志、最後の総会も熱っぽく/正門閉ざしひっそり、チッソ
1973	3	19	熊日	チッソ、上訴権を放棄、島田社長語る/世論の動向を反映、あたりまえのこと、訴訟派渡辺栄蔵代表の話/“ 狙いは患者の分析 ”、原告弁護士、批判の声明/非常に好ましいことだ、三木環境庁長官も声明
1973	3	19	熊日	早くも報道テント村、裁判所前、「無断欠勤」の傍聴組も
1973	3	19	熊日	みなまたの母たち(下) 闇の奥から/世界へ叫ぶ
1973	3	19	熊日	水俣病訴訟を支えた人たち(3) 患者と共に考え、行動、特殊学級開設に奔走、水俣病市民会議会長、日吉フミコさん
1973	3	19	熊日	傍聴券めぐり混乱し、水俣病判決、支援団体がみ合い/訴訟派の患者と家族、“ 怨念 ” の熊
1973	3	19	熊日	水俣/苦難の道は消えず
1973	3	19	熊日(夕)	「あすの一審判決に従う」/水俣病訴訟、チッソ社長が発表/イメージ悪化避ける？/円満解決したい一念から、苦渋に満ちた島田社長/世論の勝利、患者弁護士声明/好ましいこと、三木環境庁長官が声明
1973	3	19	西日本	あす水俣病判決、熊本地裁
1973	3	19	西日本	届くか...怨念の声/どう裁く“ 汚悪水論 ” 認められるか包括一律請求、見舞金契約の判断は？/水俣病判決の焦点、汚悪水論、包括一律請求、見舞金契約、判決の見通し/水俣病裁判の主な争点/水俣病年表
1973	3	19	西日本	満額.....欲しか.....し、しかしゼニで.....なにもなりやせんど/水俣病判決、寝たきり待つ築地原さん、もだえと沈黙と、患者しかわからぬ苦しみ
1973	3	19	西日本	チッソ、控訴せぬ/島田社長、水俣で発表/当たり前の事だ、患者側歓迎
1973	3	19	西日本	水俣病年表
1973	3	19	朝日	水俣病裁判あす判決/チッソ過失認定確定、賠償金額「新潟」超すか
1973	3	19	朝日	冷静に待つ審判の時、水俣病判決前の患者たち/解決むしろこれから、運動論で意見対立も/自主交渉、弁護士は側面支援
1973	3	19	朝日	「100億円下るまい」/チッソの償い料「水銀たれ流し経営」/賠償やヘド口処理、行政側から
1973	3	19	朝日	おののき、たぎる心、交渉に旅立ち準備、判決前夜の訴訟派患者ら
1973	3	19	朝日	上訴権を放棄、チッソ、島田社長が表明
1973	3	19	朝日	チッソが“ 洗脳の書 ”、“ 道義的責任すらない ”
1973	3	19	朝日(東京)	道遠い水俣病の解決/勝訴でも年金要求へ、賠償大部分はこれから、汚れた自然もどう回復
1973	3	19	朝日(東京)	「当然」「今さら...」、チッソの公訴権放棄、まだ気を許さぬ患者も、放棄、遅すぎた、原弁護士が声明、解説 東京交渉かわす意図
1973	3	19	朝日(東京)	読書 「水俣 68 - 72深い淵より」塩田武史写真報告
1973	3	19	朝日(東京)	水俣病、患者家族ら続々熊本へ/判決目前、感慨胸に
1973	3	19	朝日(東京)	しのぶさん判決を前に卒業式/“ 水銀の青春 ” 巣立つ/口と足をもどして、いばらの道、ワァーと涙/傍聴券交付もめる、警官隊も出動する騒ぎ
1973	3	19	朝日(東京)	チッソ、水銀たれ流しの償いは？百億円は超えそう、ヘド口の後処理も大変、患者への償い、ヘド口始末、立替えばらい、ふえる額
1973	3	19	朝日(東京)	素粒子 チッソが公訴権放棄.....
1973	3	19	朝日(東京)	今日の問題 終わりなき水俣病
1973	3	19	東京	どこまで届く“ 怨念の叫び ”/水俣病訴訟あす判決/賠償「新潟」上回る？/「満額.....欲しか.....しかし、ゼニが何に...」/寝たきりで待つ築地原司さん
1973	3	19	東京	上訴断念は当然/水俣病患者、世論にチッソは屈服
1973	3	19	東京	水俣判決をかみしめる/大規模工業地帯/汚染の前に打つ手が求められる行政指導力/住民の不安を解く、企業には反省材料、「土地は自ら守る」
1973	3	19	読売	水俣訴訟/チッソが上訴権放棄、社長表明あすの判決を前に/びっくりした/世論の勝利弁護士
1973	3	19	読売	チッソ、上訴権を放棄、水俣病裁判あすの判決を前に、島田社長表明、患者に深くおわび/要求貫徹まで闘う、原告弁護士/一致した望みだった、田中義光氏(原告副代表)の話/補償問題解決一日も早く、三木環境庁長官の話
1973	3	19	読売	暗い道のりを越えて...../“ あす ” を待つ水俣患者/娘よ、きっと勝つ、老いた母“ 誓いの墓
1973	3	19	読売	判決後に新婚旅行、「妻に恩返し」と田上さん
1973	3	19	読売	傍聴券へ最後の列、“ テント村 ” 82人を超す
1973	3	19	読売	判決支援のイ病原告ら、きょう熊本入り
1973	3	19	読売	水俣病補償、調印派が差額要求/“ 判決額 ” が上回れば、まず死者34人分
1973	3	19	読売	塩田武史写真報告「水俣 68 - 72」政治、企業、日本を問いつける
1973	3	19	読売	“ 完全勝訴かちとるぞ ”、あすの水俣判決、原告団、早くも熱気/堅い表情、ふるえ声、上訴権放棄、夜の発表、島田社長
1973	3	19	毎日	水俣病裁判あす判決、17年の怨チッソの責任に断、熊本地裁
1973	3	19	毎日	「あすは智子の喜ぶ日に！」、胎児性水俣病患者、上村智子さんの母親良子さん/水俣病裁判、判決待つ表情迫って、怒り秘めて複雑、原告、“ 明るい町へ ” 祈る市民/声ひそめる従業員/テントにギターも
1973	3	19	毎日	「謝罪、遅すぎた」/チッソの上訴放棄、地元複雑な反響/「判決だけでは終わらない」/「チッソの本質は変わらない」、突放すテント村

1973	3	19	毎日	よろめく足ふんばって、水俣病患者しのぶさん卒業、進学や就職の友とさようなら/傍聴券を奪い合い
1973	3	19	毎日	あの時勇気と力があつたら/生かせなかった“ネコ実験”、元水俣保健所長あかす/細川氏より二年前、水俣病症状はつきり、“魚介説”を裏付ける
1973	3	19	毎日	自主交渉に限り縁切り、水俣病訴訟派と弁護団
1973	3	19	毎日	肥後評論 公害絶滅のとりでに、“水俣判決”への期待
1973	3	19	毎日	怨念の中で.....判決迎える水俣
1973	3	19	毎日	追いつめられた島田社長/いたわりの言葉なく、記者会見、血走った目、手ふるわせ/詰寄る患者に支社長土下座、水俣工場
1973	3	20	朝日	見せかけの譲歩だ、原告弁護団が声明/訴訟派代表と会談し切出す、島田社長
1973	3	20	朝日	チッソの動き注目、判決後に誠意見せるか
1973	3	20	朝日	水俣病授業で4年間、圧力にも屈せず、竜南中の田中先生、命の尊さを教える、熊本
1973	3	20	朝日	今日の問題 終わりになき水俣病
1973	3	20	朝日	なにが勝訴か万歳か、金でカタはつかぬ、裁判長、命の代償、一気に数字で/17年の“怨念”は消えぬ!、判決、いい供養に、夫、娘犠牲の上野さん、原告ゼロ号/「水俣では絶対力ネ受「この子が生きてる限り...」苦しみも消えず胎児性患者の母/残る孤立・差別に不安「盆も正月もずっとなか」
1973	3	20	朝日	この日の水俣の表情、従業員、無言で出勤、「チッソ消えたら」地元不安/首ねじまげテレビ
1973	3	20	朝日(号外)	チッソに全面過失、水俣病裁判、患者側が勝訴、熊本地裁、最高千八百万円、補償総額九億超す、見舞金は無効/公害行政の非認める、政府/企業の逃げ道ふさぐ、解決の一步、ぬぐい切れ
1973	3	20	熊日	「被害補償は平等に」チッソ新労、会社へ申入れ決める
1973	3	20	熊日	チッソ、上訴権を放棄、水俣病裁判、島田社長が表明、判決前に全国集会、患者ら熊本に集結、「告発する会欠席」/一応は了承
1973	3	20	熊日	千五百人が集会とデモ、現地集会
1973	3	20	西日本	支援団体の対立深刻、傍聴券配布でこぜり合い
1973	3	20	日経	水俣病きょう判決、チッソ上訴権放棄、島田社長語る、「完全勝利まで闘う」熊本市、訴訟派患者ら全国集会、傍聴券で一時紛糾、支援組織間に深いミソ
1973	3	20	毎日	今こそ「怨」の裁きを、患者ら緊張の前夜、新たな闘いへの決意も/公害撲滅まで「やろう」、全国の仲間、大会で団結
1973	3	20	毎日	声もなく“揚げば尊し”、しのぶさん卒業、だが、閉ざされた進学、就職、水俣一中
1973	3	20	毎日	問われる“行政”の姿/解決延ばした罪を知れ、調停やヘドロ処理、許されぬ“仲介者”の立場/“千万円の壁”破る、補償額、「汚悪水論」もほぼ認めて
1973	3	20	毎日	水俣病裁判の判決、要旨
1973	3	20	毎日	業績さらに悪化、チッソ、再建へ多難な道/「企業への規制強めたい」三木長官語る
1973	3	20	毎日	鎮まらぬ怒り、「反公害闘争これから本番」/公式的には「判決とは別」公調委の態度
1973	3	20	毎日	(座談会)患者“全員救済”の道を、補償食いつぶす生活、物価に見合う、定期金方式望む/復帰病院、身近に、公害制裁の法整備も急げ/請求・容認額一覧
1973	3	20	毎日	「怨」晴れぬ、水俣病判決、“勝訴”にもひややか、原告には戦いの一里塚、席立つ被告に怒声/よく闘った訴訟派、半面、認定額に複雑な他派
1973	3	20	毎日	生き供養 水俣判決を聞いて、石牟礼道子
1973	3	20	毎日	チッソ本社で受取る、原告側、賠償金で確認/支援団体同士で殴りあい
1973	3	20	毎日(号外)	水俣病、チッソに全面責任、患者側が勝訴、熊本地裁判決、九億三千万払え、死者・超重症者、最高の千八百万円、見舞金契約は無効、時効完成せず/「とにかくよかった」患者代表の渡辺さん、新認定患者への補償、公調委案に従う、チッソ側会見/家族ら26人は棄却/公害裁判の限界痛感、原告らの幸せを祈る、斎藤裁判長談/
1973	3	20	毎日(号外)+	総合対策班を新設/他派患者に大きな影響、公調委、提示額に苦慮か/カネミなど未解決公害、厚生省が積極介入、斎藤厚相/判決を公害行政反省の機に、首相ら答弁
1973	3	20	読売	全国初の公害授業、水俣訴訟判決の前日、熊本県下一斉に
1973	3	20	読売	水俣病訴訟きょう判決、原告側の勝訴は確実、チッソ上訴権を放棄、社長表明
1973	3	20	読売	判決要旨、予想された危害
1973	3	20	読売	怨の20年一気に晴らす、無限の公害に歯止め、「汚悪水論」趣旨は盛る/判決と争点
1973	3	20	読売	貫かれた人間尊重、4大公害訴訟、企業責任が明確に、被害者の救済を確立/古典的法理論の衣まとった汚悪水論、沢井裕/補償解決への第一歩
1973	3	20	読売	智子はまだ赤ちゃん、胎児性患者の16年、母の叫び、上村良子、入院の繰り返し、冷たい目に耐えて/生後3日目に激しい発作
1973	3	20	読売	患者多発の芦北地区に医療センター設立、沢田熊本県知事が構想/判決履行を要望する、沢田
1973	3	20	読売	バンザイのない勝利、拍手もヤジもなく、胎児性患者の声だけ響く/人間的な判決でした、涙あふれる報告集会/無心に笑うだけ、重症の実子さん/やっと両親のカタキ討った、まぶたに焼きつくネコのさかさ踊り、浜元フミヨさん、今期も逸し恨みの17年
1973	3	20	読売(号外)	水俣病裁判原告側が勝訴、チッソの過失と断定、有機水銀に起因、損害賠償、9億3722万円払え、熊本地裁/近親者26人は棄却、見舞い金契約は認めず、結果はよかった/公害行政の転機に、閣議で首相ら発言/できるだけ償いをする、チッソ側表明/政治努力で根本解決を、斎藤裁
1973	3	20	読売(号外)	よみうり寸評、(患者側勝訴)
1973	3	20	熊日	水俣病裁判きょう判決/一番確定の公算大、きょうにも賠償金、動かぬ原告の勝訴/のぞく怨念の深さ、公害被害者の全国大会/熊本市
1973	3	20	熊日	苦闘3年9カ月の原告判決を前に...../最後の叫び/海をきれいにして返せ、釜時良さん、弟を元のからだに.....、浜元フミヨさん、病気は一生離れんと.....、渡辺保さん、闘いはこれからも続く、田上義春さん
1973	3	20	熊日	水俣病裁判判決を迎えて、浜元二徳/まだ遠い“真の勝利”、公害絶滅の闘いは続く
1973	3	20	熊日	この子らに卒業の感激は...../水俣一中の卒業式、「胎児性」の3人巣立つ

1973	3	20	熊日	判決控え水俣病勉強/熊本市内の二校/患者の写真に「アッ」、裁判記録など調べる/竜南中/
1973	3	20	熊日	水俣病患者との通行、石牟礼道子著、流民の都、一もうひとつのこの世へー
1973	3	20	熊日	座談会、「水俣」を反公害の拠点に/大石元環境庁長官をかこんで/問われる政治の無策、日吉/補償に“新旧”あり得ぬ、大石/心の通う施設作りを、坂本/甘やかすな公害企業/欲しいりハビリの確立/座談会を終えて、“なぜ環境会議でこれが水俣病と”
1973	3	20	熊日	廷外に暗い影、分裂した水俣病支援団体/傍聴券でもみ合い、告発する会、県民会議、両者、対立浮き彫りに/県警、500人で警備、熊地裁が要請、万一の混乱に備え
1973	3	20	熊日	怨念の記録、水俣病/“奇病”から“判決”まで
1973	3	20	熊日	水俣病の社会学、チッソの地域支配/熊商大教授、土肥秀一/市の行政とゆ着、裁判闘争、住民側から初の対決
1973	3	20	熊日	補償は各派平等に、チッソ新労、会社へ申入れ決める
1973	3	20	熊日	きょうの発言“市民”による水俣病封じ込め、(丸山定巳=熊大助教授)
1973	3	20	熊日	水俣病訴訟を支えた人たち(4)“義勇兵”の初心貫く、「患者の心」第一義に/水俣病を告発する会代表、本田啓吉さん
1973	3	20	熊日	水俣病、判決の周辺(5)もうひとつのこの世/運命共同体の証し、センターの建設、新たな闘いの拠点
1973	3	20	熊日(夕)	そのとき「Vサイン」もなく、“カネでからだは返らん”/“水俣病は終わらない”/“判決”に17年の涙、苦しみはこれからも、寝たきりの築地原さん/“これでひと区切り”、肩の荷おろした市民達、現地水俣/全患者の救済を、チッソ水俣両労組
1973	3	20	熊日(夕)+	/補償額、早急に会社に申し入れ、差額で具体的行動とる、遺影を抱いてメモ、沈痛な面もちの原告席、廷内で/告発県民会議、対決意識むき出し、廷外で/この子がいる限り、生ける人形の松永久美子さん/誕生日を迎えた判決、新しい闘いの出発点、田上義春さん
1973	3	20	西日本	水俣病裁判/けさ注目の判決/患者発見から17年ぶり/熊本地裁
1973	3	20	西日本	「この目で確かめる」、迫る判決に患者緊張
1973	3	20	西日本	“チッソがにくい”/道徳の時間に公害授業の事前学習/児童ら懸命の告発、先生の胸つく“手ごたえ”/熊本市の小学校
1973	3	20	西日本	卒業……業苦果てず/胎児性水俣病患者、坂本しのぶさん/この体、カネで戻らぬ/「裁判が終わっても、チッソ、ニクカ」/社会の荒波へ、坂本しのぶさんら3人、水俣一中を巣立つ
1973	3	20	西日本	公害病もうイヤだ/根絶へ徹底抗戦、釜さん訴え、勝訴の言葉使うな/被害者全国大会
1973	3	20	西日本	判決によせて手記、田上義春/これから闘いの先頭に/この手で生活設計、患者の心は患者しか
1973	3	20	朝日	水俣病裁判きょう判決/一審確定の公算大、きょうも賠償金、動かぬ原告の勝訴/のぞく怨念の深さ、公害被害者の全国大会/熊本市
1973	3	20	朝日	この目で判決を、確かめたい一心、帰宅した入院患者も
1973	3	20	朝日	患者ら熊本に集結、水俣病裁判きょう判決/公害被害者一堂に、全国から約500人参加/「告発する会」欠席/15億円全額準備、チッソ
1973	3	20	朝日	暗い卒業式、胎児性水俣病患者、「仰げば尊し」に泣くしのぶさん/「口・足を戻して!」、前途いばら16歳
1973	3	20	朝日	「世論へのポーズ」、チッソの上訴権放棄、患者らは警戒心
1973	3	20	朝日	患者と市民会議が主催を引受けケリ、きょうの地裁前集会
1973	3	20	朝日	傍聴券めぐりもむ、県民会議と告発する会
1973	3	20	朝日(東京)	東京で受取る、補償金で患者ら
1973	3	20	朝日(東京)	立ち席券25枚発行、傍聴券騒ぎで地裁
1973	3	20	朝日(東京)	患者と市民会議で、きょうの現地集会主催
1973	3	20	朝日(東京)	50人泊り込む、チッソ本社前に学生ら
1973	3	20	朝日(東京)	患者側が全面勝訴、水俣病裁判、チッソの過失責任を断定/最高は千八百万円、慰謝料総額九
1973	3	20	朝日(東京)	重苦しい勝訴/「怨」はれぬ水俣病の原告/終わり泣き病苦の日々、「子は返せ、体をもどせ」/判決の瞬間/マユも動かさず、静寂破る低いうめき/チッソ/患者に「おわび」表明、社長現れず会場混乱/アミン説を唱えた清浦氏らも姿消す/チッソ本社前で集会
1973	3	20	朝日(東京)	死んだ人は戻らん/私も裁判したかった、もう一人の“原告”、娘の命日控え供養
1973	3	20	朝日(東京)	水俣病、判決理由の要旨/水俣病裁判争点一覧/苦心の連続だがホッとした、斉藤裁判長語る/「予想通り」と受けとめ、財界の大勢/野党が談話/国の企業が対策にぬかり、中曽根通産相語
1973	3	20	朝日(東京)	繰返すなこの悲惨/公害裁判の今後、「差止請求」と「環境権」、理由づけを急げ/水俣病メモ
1973	3	20	朝日(東京)	島田社長、東京へ飛ぶ、青ざめた表情で記者団に語る、22日ごろおわび
1973	3	20	朝日(東京)	全患者に賠償適用、差人予算案委、水俣裁判で政府答弁
1973	3	20	朝日(東京)	「水俣」と私、公害列島覆う証言/「10年前すむべき事件だ」、北京で宇井純氏/補償へ思惑さまざま、判決を聞いて患者各派/揺れる“命の値段”、千八百万円、高いといえない
1973	3	20	朝日(東京)	48年度から実施さす、水俣湾のヘドロ処理/環境庁長官
1973	3	20	朝日(東京)	素粒子(水俣裁判は終わったが)
1973	3	20	東京	水俣病裁判きょう判決、企業責任の明示確定/患者家族ら熊本入り/訴訟派以外も同額を、要求内容さめる

1973	3	20	東京	終わりなき“怨の闘い”/判決に複雑な公害地/企業犯罪糾明を、チッソの責任は重い? 識者の声/“原点”に立ち戻れ、富樫貞夫氏
1973	3	20	東京(夕)	見えぬ目で聞こえぬ耳で/勝訴でも苦痛は償えぬ/判決へ必死の顔、うなずき合う患者たち/今こそチッソにうらみ晴らす時、本社前で自主交渉派ら集会
1973	3	20	東京(夕)	四大公害/裁判に勝っても/広がる強い怒り、行政の転換に圧力/現実とズレ、国の施策行政措置の抜かり反省、判決を率直に受けとめ、通産相談/判決理由要旨
1973	3	20	東京	地裁前で小ぜりあい、患者不在の支援団体
1973	3	20	読売	“怨念判決”見届けるゾ/水俣原告団熊本入り、自主交渉派も加わる/2千人が現地集会、“終わりなき闘い”誓う/公害地からも続々/傍聴券で乱闘/しのぶさん卒業式、涙いっぱい「揚げ
1973	3	20	読売(東京)	水俣病裁判、患者側が全面勝訴/チッソの過失断定、熊本地裁、九億三千万円払え/「見舞い金やっとかたきば取ったよ、でも怨念は晴れず/四大公害訴訟の代表は語る/誠実に“謝罪”しろ/企業エゴ変わらぬ/苦闘に終わりは無い/患者ら本社へかけ上がる/金じゃない、両親返せ、結婚せず待ったこの日、原告の人浜元フミヨさん/その時、万歳も拍手もなく
1973	3	20	読売(東京)	/勝利もわからず...、響く患者の奇声、廷内/従業員、複雑な表情、水俣現地
1973	3	20	読売(東京)	一生の憂き目企業の罪消えず/判決理由要旨/家族26人は請求棄却
1973	3	20	読売(東京)(夕)	反公害闘争、これからが本番/「四大公害」裁判を見て/確立した企業責任論、血と汗の闘争世論喚起/家庭用洗剤も放置できぬ、首相、注意喚起/予想通りの判決、田中首相語る/公害解決の転機に、参院予算委で首相答弁/公害防止、各省協力を、三木環境庁長官
1973	3	20	読売(東京)	教えなかった無力しみじみ、水上勉
1973	3	20	読売(東京)	専門医療センター、水俣・芦北地区に、熊本知事が語る
1973	3	20	毎日	水俣病、きょう判決を前に、チッソが上訴権放棄、島田社長発表、「患者に責任果たす」/患者側は冷やかな反応、解説 敗訴濃厚で転換
1973	3	20	毎日	世界の目が.....、きょう水俣病裁判の判決/「満額でも体は戻らぬ」、患者、緊迫、支援団体ぞくぞく/「今後の運動が大切」、公害被害者全国大会、激励にうなずく/患者同士団結を、支援の声、各公害病患者代表
1973	3	20	毎日	定着した“企業責任論”/公害行政を強化、三木環境庁長官語る/閣議で協力要請/社会的責任、自覚を、財界、上訴権放棄は歓迎/
1973	3	20	毎日(東京)(夕)	水俣病、チッソに全面責任/四大公害裁判、患者側勝訴に終わる、注意義務、怠った、九億三千万円支払え/見舞金契約は無効/死者・超重症者に、千八百万円認める/「よかった」渡辺さん語る/補償金は全額水俣で支払う、チッソ幹部語る/
1973	3	20	毎日(東京)	「チッソ断罪」に初めて拍手/支援団体が殴り合い/「16歳の春」悲し、智子さん/おカネもらっても.....、「生涯泣いて」と父
1973	3	20	毎日(東京)	水銀の苦痛消えず/「他人にはわかるめエ」、やっとの勝訴も病床で/チッソ本社怒りの波
1973	3	20	毎日(東京)	座談会/患者“全面救済”の道を、物価に見合う定期金方式望む/制裁の法整備急げ、公害防止、予防訴訟が大切/水俣病裁判の判決、要旨/請求・認容額一覧
1973	3	20	毎日(東京)	損害賠償やヘド口除去、政府も積極協力/首相ら約束
1973	3	20	毎日(東京)(夕)+	根本解決は政治の責任、斉藤裁判長、公害裁判の限界語る
1973	3	20	毎日+	「公害防止に全力」、関係業界表明/「反公害これから本番」、怒り鎮まらぬ各地の声
1973	3	21	朝日	病も怒りも消えず/首ねじまげテレビ見入る、寝たきり患者
1973	3	21	朝日	万歳と叫べぬ勝訴、金で命・体が戻るか、17年間の“怨念”晴れず、うめく患者、頭たれるチッソ側、誠意欠くチッソ、判決文「罪状」えぐる、党派超え闘い継続、報告集会で訴える、精いっぱい判決、代表の肩書き消して、社長はどこだ
1973	3	21	朝日	政府も反省の言葉、政治に責任あり、過去の経過、環境庁長官認める、ぬかりがあった、通産相表明、裁かれたのは政治、参院予算委で鋭い追及
1973	3	21	朝日	賠償支払い済みの患者、差額分積上げの意向、島田社長、賠償金、一任派と大きな違い
1973	3	21	熊日	渡辺代表が辞意表明、現地決起集会、支援グループは慰留
1973	3	21	熊日	チッソ本部に乱入、東京告発する会、ビル廊下を占拠
1973	3	21	熊日	公害きびしく摘発、県警
1973	3	21	熊日	判決に17年の涙、苦しみはこれからも、寝たきりの築地原さん
1973	3	21	熊日	全患者の救済を、チッソ水俣両労組/補償額、早急に会社に申入れ、差額で具体的行動とる、いつまでも患者さんと共に、家族の苦しみ加味されず
1973	3	21	熊日	“これでひと区切り”肩の荷おろした市民達、現地水俣
1973	3	21	熊日	かなり厳しい判決、被告側弁護団
1973	3	21	熊日	水俣病、チッソに全面責任、熊地裁判判決、総額九億三千万円支払え、家族は一部減額、排水注意義務怠る、賠償、患者はほぼ満額、公序良俗に違反、見舞金契約は無効
1973	3	21	熊日	水俣病裁判、判決理由要旨/請求額と判決認容額
1973	3	21	西日本	春秋 水俣病裁判の判決
1973	3	21	西日本	県に公害テレメーター、49年春スタート、汚染状況を的確に、県全域を一目で監視
1973	3	21	西日本	熊本春秋、(水俣病裁判の判決)
1973	3	21	日経	チッソはどうなる(上) 危機に耐え、払う覚悟、ぼう大な賠償金額
1973	3	21	毎日	記者席、“つぶれない”が責任は...
1973	3	21	毎日	万歳は叫べない、「四大公害」勝訴の陰で(1) 海の男の怒り、刑事罰なぜ問わぬ、「公害も犯罪」の認識もて

1973	3	21	読売	水俣病患者が勝訴、チッソに過失責任、最高千八百万円、賠償、112人に9億3730万円、熊本地裁/責任を痛感、チッソの常務語る。私の任務は終わった
1973	3	21	読売	編集手帳、賠償金の発表
1973	3	21	読売	怨の20年晴らす、無限の公害に歯止め、汚悪水論趣旨を盛る/判決と争点
1973	3	21	読売	公害の撲滅へ全力、原告弁護団が声明発表
1973	3	21	読売	医療費849万円チッソに請求
1973	3	21	読売	公害闘争はこれから、判決、わたしはこう見る
1973	3	21	読売	門も口も閉めて、チッソ工場、顔こわばる社員、島田社長姿見せず、歯切れ悪い記者会見、福岡空港でも知らん顔、「だれか出てこい!」、東京本社・鉄格子へ怒り
1973	3	21	読売	智子はまだ赤ちゃん、胎児性患者の16年、母の叫び、上村良子、入院の繰り返し、冷たい目に耐えて/生後3日目に激しい発作
1973	3	21	読売	チッソ、全額を支払う、仮執行中止、支社長が土下座
1973	3	21	読売	補償解決これから、調印派も差額を要求
1973	3	21	読売	企業責任感じる、財界
1973	3	21	読売	全患者補償急ぐ、三木長官、治療の研究体制強化
1973	3	21	読売	浮び上がる汚悪水論、判決を聞いて、沢井裕
1973	3	21	読売	4大公害訴訟、企業責任明確に、被害者救済を確立、四大公害訴訟の比較
1973	3	21	読売	公害と企業の責任、水俣病判決を聞いて、対談、発想転換の時、汚染者負担が妥当、住民含む監視委を
1973	3	21	読売	体はもとに戻らない、水俣病訴訟判決、四大訴訟の原告代表に聞く、繁栄の踏み台、がまんできぬ、行政責任も大きい/専門の医療センターを
1973	3	21	読売	水俣病判決ドキュメント、中学生も怒りの集会、「公害企業許さぬ」
1973	3	21	読売	やっと両親のカタキとった...、まぶたに焼きつくネコのさかさ踊り、浜元フミヨさん、婚期も逸し恨みの17年
1973	3	21	読売	チッソと公害協定、浮池市長語る
1973	3	21	読売	金では償えないぞ、拍手もヤジもなく、胎児性患者も無心に/「人間的な判決」涙あふれる報
1973	3	21	読売	水俣判決、重苦しい法廷、ゼロ判決に涙、岩本さん、一家を破壊されたのに/テレビにただ笑顔、重症の実子さん
1973	3	21	読売	渡辺代表が辞任
1973	3	21	読売	終わりなき苦闘/(写真)/判決後、人で埋まった熊本地裁前/法廷内で判決を待つ患者、家族/活躍する外人カメラマン、ユージン・スミスさん/遺影を胸に入廷する患者、家族/ノボリを立てて告発する会の集会
1973	3	21	熊日	勝訴もむなし“苦海”の道、水俣病判決/“金は死んだ親の代償”チッソ追及、なお厳しく/乱れ飛ぶ激しいヤジ、バ声、判決前、公害闘争に新たな決意、閉廷後/やっば元気な体が欲し
1973	3	21	熊日	チッソはどこへ行く/補償金は100億円超す、無配・赤字18億円.....さえぬ業績、倒産あるまいが大きい打撃/見当もつかぬばく大な代価/強まるか水俣撤退色/四大公害訴訟の判決対比表/「加害者断罪」、肩すかし、一水俣病判決に思う一、富樫貞夫/
1973	3	21	熊日	原告の請求、値切りすぎ、納得しにくい減額の背景、戒能通孝
1973	3	21	熊日	チッソ、全額を支払う、水俣工場で仮執行、土下座であやまる/判決、厳しいが従う、島田チッソ社長語る/水俣病訴訟派の26人が上京、集団交渉へ
1973	3	21	熊日	確立した企業責任論、水俣病判決/安全確認義務づけ、水俣病の悲惨さ理解、汚悪水論の理念ふまえ/原告の勝利は当然、県内政党が談話発表/解説 /今後の補償に大きな影響、補償問題/水俣病裁判ー争点と判決
1973	3	21	熊日	怨念は晴れず、水俣病判決/新たな誓い、風雪.....、緊張とけて、怨、涙、涙.....
1973	3	21	熊日	よみがえらぬ患者の笑顔/水俣市役所赤崎さんの判決ドキュメント/補聴器に運命に判決、みじろぎもせず沈痛に
1973	3	21	熊日	智子さんは眠っていた、判決の瞬間/無心なわが子に涙、上村さん“死闘”いつまで続く
1973	3	21	熊日	存命中食える補償を、涙で話す天草の患者
1973	3	21	熊日	チッソの責任明確に、原告側弁護団が声明
1973	3	21	熊日	“人情裁判官”緊張の判決、斉藤次郎さん/一瞬、口を“へ”の字に、メガネの奥に誇りと安
1973	3	21	熊日	関係者は談話/患者への補償は評価できる、新潟水俣病の会の橋本十一郎さん/見舞金契約無効はよかった、水俣病市民会議の日吉フミコさん
1973	3	21	熊日	反公害の闘いへ、水俣病判決の意義、座談会/環境権の立法化を、住民運動に一つの転機、やりきれぬ命への値段/キメ細かい救済を、医療も患者本位に、病気が軽くなる研究を/問われる行政の責任、判決を公害の歯止めに、賠償金のワクを破る運動を、現地の人の直観を基礎に
1973	3	21	熊日	勝訴でも苦痛は残る、富山など公害地の表情
1973	3	21	熊日	チッソの刑事責任は立件できぬ、県警本部長が述べる
1973	3	21	熊日	熊大医学部関係者の声/患者救済に温かい手を、安すぎる補償額、一步前進した公害対策
1973	3	21	熊日	行政の緩慢を反省、水俣病判決で通産相、誠意ある補償指導、参院予算委
1973	3	21	熊日	県・総合対策班を結成、患者救済などに全力
1973	3	21	熊日	公害の防止に全力、水俣病で超党派の決議、県議会
1973	3	21	熊日	公害行政前進の契機に/政府、ヘド口処理急ぐ、公調委の作業を促進/救済制度の検討も
1973	3	21	熊日	渡辺代表が辞意表明、自主交渉介入に反発
1973	3	21	熊日	新生面 水俣病の“序章”
1973	3	21	熊日	社説 きびしく企業責任追及、一熊本地裁水俣病に判決ー/高度の注意業務を求む/社会主義に照らす/なお重大課題が未解決

1973	3	21	西日本	水俣病チッソに全面過失/患者には全額認める、熊本地裁/九億三千万円払え、最高額は千八百万円、家族26人は棄却/見舞金契約無効/汚悪水論は判断示さず/判決理由 骨子 /抜本解決、政治努力で、斎藤裁判長/原告側も控訴せぬ方針
1973	3	21	西日本	十一億八千万円支払う、チッソが利息含め/肩代り救済費チッソに要求、鹿児島県
1973	3	21	西日本	むなししい生命の償い/原告別損害賠償請求・容認額一覧表/戻らぬ命(原告死亡患者の写真)
1973	3	21	西日本	水俣病裁判/判決理由要旨/工場措置、適切さ欠く/判決と原・被告の主張
1973	3	21	西日本	明るい水俣いつの日/残る水銀ヘドロ、患者切り捨てご免だ、チッソ城下町、補償倒産の不安も/ 解説 続く補償の“尺度”に、環境にも注意義務求める
1973	3	21	西日本	仲介の労おしまぬ、再発防止へ強い決意/三木長官
1973	3	21	西日本	ヘドロ処理に事業費、水俣湾、運輸省、世論に押される
1973	3	21	西日本	チッソの責任明確、原告弁護団が声明文
1973	3	21	西日本	水俣病判決の意味を探る/公害撲滅の出発点に/座談会出席者、千場茂勝、立津政順、藤後惣兵衛、徳本鎮、浜元二徳/評価できる姿勢、“犯罪を過失”に疑問も/低すぎる家族の慰謝料/民事解決に限界、刑事責任追及も/甘すぎる責任範囲、国や地方自治体も一体感を/
1973	3	21	西日本	患者掘り起こしに全力尽せ
1973	3	21	西日本	「水俣」を生かす道/これからの地域を考える/30人委員の発言/都留大治郎、企業盲従の鎖をといて、住民が都市の主人に/田中艸太郎、患者の痛みはわが痛み、発揮した芸術家の力/小出栄一、下から上への人間開発、住民福祉を優先せよ/
1973	3	21	西日本	公害対策の契機に、首相、水俣病判決で表明/参院予算委/行政の在り方を反省
1973	3	21	西日本	公害地の表情、水俣病判決/訴訟の成果ステップに、患者救済に行動を/反公害運動は転機に、四日市公害/新潟の交渉に反映させたい、新潟水俣病/勝訴しても苦痛和らぐぬ、富山のイ病
1973	3	21	西日本	“水俣の教訓”生かそう/公害防止に万全策、西日本産業界、大幅投資や技術開発/通産局は監
1973	3	21	西日本	手ぬるさ、許されぬ/難問山積の水俣病対策/急げ!患者の救済、知事、近く上京、国へ直談判
1973	3	21	西日本	“水俣病”で詰め寄る、一般質問終わる、患者救済と公害防止決議/県議会
1973	3	21	西日本	新たな戦いへ氣勢、患者代表らがデモ行進
1973	3	21	西日本	水俣の証言/記者ノートから/安住の地はどこに、人間が人間を傷つける/いわれなき業苦、水銀ば飲み水銀ば、軽視と憎悪の中で、恐怖感の裏返し
1973	3	21	西日本	“苦海”果てなし/判決、その波紋/上積み勝ちとる、“差額考慮”信用できぬ、一任派/私たちも水俣病と叫びたか、二次訴訟派/今度こそお父さんの裁判ヨ、分離訴訟派/心を一つにして闘っていく、態度保留/チッソ“総括”、今こそ行動を、自主交渉派/大きい行政の責任/納得いかぬ賠償額差/何も言うことない
1973	3	21	西日本	怨念こめ、ただ沈黙/患者不在のケンカ、入廷前、心ない支援グループ/Vサイン、拍手もなく、患者のうめきが唯一の声/法定内
1973	3	21	西日本	闘争はこれから、水俣病センター設立委/水俣病センター7月に完成
1973	3	21	西日本	始まった新しい闘い/水俣病患者“判決だけでは救われぬ”/大挙、東京交渉へ、チッソに「海と生活返せ」
1973	3	21	西日本	熊本から逃避行、島田社長、東京でやっと会見/社長と会見求めてもめる
1973	3	21	西日本	渡辺代表が辞意、第一次訴訟派
1973	3	21	西日本	刑事責任追及の可能性検討、熊本県警本部長
1973	3	21	西日本	社長と会見求めてもめる
1973	3	21	西日本	肩代わり救済費チッソに請求、鹿児島県
1973	3	21	西日本	春秋 (裁判長はチッソが公害防止の注意義務を怠ったと決めつけ、見舞金契約も誠意が認められぬと無効にした)
1973	3	21	西日本	原告側も控訴せぬ方針
1973	3	21	西日本	抜本解決、政治努力で、斎藤裁判長
1973	3	21	西日本	人 水俣病裁判で判決を下した熊本地裁民事三部裁判長、斎藤次郎
1973	3	21	西日本	社説 水俣病は会社の全面過失、判決後になすべきこと/消えぬむなしさと痛み、何に、どう取り組むか、公害断罪の原点として
1973	3	21	西日本	水俣病判決、そのあとにくるもの(1) 新たな旅立ち/金はまた差別生む/悩み多い“処理人間”/さるく所がなか、金じゃなか、命を、やはり「金で処理」、引き裂かれた仲
1973	3	21	西日本+	上野登、民事訴訟のワク越えて、環境権の回答求めよ/前田俊彦、“美しい里”の復活へ、脱皮せよぜ二の論理/鈴木広、共同体感覚がある限り、やはり虚空に迷う“怨”
1973	3	21	朝日	チッソに全面責任/水俣病裁判、患者側が勝訴、熊本地裁、最高千八百万円、賠償総額九億三千余万円/見舞金契約は無効/注意すれば予見できた、判決、企業過失を推認/水俣で仮執行、チッソ、十一億八千万円支払い/判決理由骨子
1973	3	21	朝日	水俣病裁判、判決理由要旨/野党が声明・談話/チッソは今後も責任をとれ/公害闘争に法的よりどころ/生命軽視の行政反省せよ/法解釈、まだ企業に甘い/今後の公害闘争の土台に、原告弁護団/現代的な意味もつ判決、チッソ代理人
1973	3	21	朝日	なおも続く苦しみ/胎児性患者の母、この子に生ある限り.../「盆も正月もなか」、あとに残る孤立の不安/娘と夫のよい供養に、原告ゼロ号の上野さん/直接交渉へ原告ら上京/うらみの金は東京で受取る、意気ごむ患者
1973	3	21	朝日	「勝訴の喜びナンセンス」、告発する会、チッソ本社前で集会
1973	3	21	朝日	苦しみ歲月しのぶ、公害列島ドキュメント/米人カメラマン/石牟礼道子さん/不知火海“現場”/北京で宇井純氏/細川院長未亡人/チッソの本社前
1973	3	21	朝日	勝っても晴れぬ怨念、水俣病判決/子ば返せば戻せ、終りない患者の苦痛/「今後の孤立心配」/慰謝料を受取る、原告側、利息含め11億8,000万円/無表情の患者たち、判決の瞬間/「住民犠牲許されぬ」、厳しい裁判長/「闘いのでゆるめ」チッソ本社前、告発する会員ら集会
1973	3	21	朝日	賠償総額は12億円近く、利子が2億5千万円
1973	3	21	朝日	原告の請求額と認容額

1973	3	21	朝日	企業の町に残る不安/その日の水俣、チッソ消えるのでは、元凶一だが生活に響く/従業員は無言のまま/敬遠される水俣の魚/面会もなく漂う静けさ/
1973	3	21	朝日	裁判の争点
1973	3	21	朝日	訴訟派の粘り評価、患者各派、今後の交渉期待
1973	3	21	朝日	要求に期待増す、一任派調停派、自主交渉派「さらに姿勢強める」満額とゼロと
1973	3	21	朝日	判決理由の要旨/いかなる工場といえども、環境破壊はならぬ/全野党が談話
1973	3	21	朝日	どう受けとめる水俣判決、座談会/「万歳」とはいえぬ坂本、問えぬが刑事責任星野/医師にも反省迫る原田、行政こそ責任重い、淡路/裁判で救済せきぬ、患者の生活考えよ、今後の課題
1973	3	21	朝日	水俣病判決のもたらしたもの/ 座談会 /公害は裁判で防げぬ、淡路、自活できる施設造れ、坂本/問われる医者姿勢、原田、企業責任いぜん軽い、星野/水俣病とその周辺
1973	3	21	朝日	水俣病メモ/水俣病裁判の争点一覧
1973	3	21	朝日	微妙に食い違うチッソ=労組
1973	3	21	朝日	公害列島ドキュメント、水俣の中の日本人
1973	3	21	朝日	今年中に公害防止協定結ぶ、水俣市長
1973	3	21	朝日	刑事責任、追及には否定的、熊本県警本部長が語る
1973	3	21	朝日	対策班設け行政転換、熊本県知事、反省と決意を表明/総合対策班が即日発足/「被害者救済最善の努力」熊本県議会が決議
1973	3	21	朝日	「防止」のキメ手に焦点、今後の公害裁判、判断待たれる「環境権」、実務面のカベどう打開/調停の重要な指標、公調委委員長/誠意もって解決を、チッソに望む財界
1973	3	21	朝日	第二のPCB防止、化学物質規制法案を閣議決定
1973	3	21	朝日	青鉛筆 水俣病裁判の判決書
1973	3	21	朝日	社説 企業を厳しく糾弾した水俣病判決/残された問題の解決を急げ
1973	3	21	朝日	水俣病判決のあとに(上) 死を待つ行政/先取り行動欠く、「決意新たに」と繰返すが、幻想をふりまく、お粗末な運用面、油症も同じ軌跡
1973	3	21	朝日	個別事情で差、“軽症”は棄却、家族の慰謝料算定基準
1973	3	21	朝日	島田チッソ社長の会見/冷静のぞかせぬ胸中、「おわび」も棒読み
1973	3	21	朝日	水俣閉鎖・退陣考えぬ、ヘドロ処理費、3/4持つ、島田チッソ社長が言明
1973	3	21	朝日	ひと 水俣病裁判長、斉藤次郎、水俣病による被害は、あまりにも深刻で悲惨だ
1973	3	21	朝日	ニュース抄録 社宅処分で補償
1973	3	21	朝日	天声人語 水俣病判決、上村智子さん
1973	3	21	朝日(東京)	被害者救済にどう生かす、水俣判決のもたらしたものの、怠慢な行政追及の時、淡路、慢性汚染防止が急務、星野、患者本位の医療確立、原田、被害者の認定急いで、坂本、要求の倍額でも満足せぬ、犯罪として裁かれるべき、自力で生活できる施設、国や企業の姿勢に疑問
1973	3	21	朝日(東京)	チッソ、隠された賠償能力/業績、めざましい回復、本社は自転車操業、背後に黒字子会社群、ポリプロ、塩ビ好調、本体は“清算会社”、財界の目は冷やか、銀行にも連帯責任
1973	3	21	朝日(東京)	11億8千万円受取る、原告側
1973	3	21	朝日(東京)	個別事情で差、“軽症”は棄却、家族の慰謝料算定基準
1973	3	21	朝日(東京)	島田チッソ社長の会見/冷静のぞかせぬ胸中、「おわび」も棒読み
1973	3	21	朝日(東京)	水俣閉鎖・退陣考えぬ、ヘドロ処理費、3/4持つ、島田チッソ社長が言明
1973	3	21	朝日(東京)	ひと 水俣病裁判長、斉藤次郎、水俣病による被害は、あまりにも深刻で悲惨だ
1973	3	21	朝日(東京)	ニュース抄録 社宅処分で補償
1973	3	21	朝日(東京)	天声人語 水俣病判決
1973	3	21	朝日(東京)	水俣病、チッソに全面責任/患者側が勝訴、熊本地裁判決/許せぬ住民犠牲、環境破壊、注意義務怠る、九億三千万円支払え/「死者千八百万円」、補償額のカベ破ったが、消せぬ患者の悲劇/見舞金契約、公序良俗に反し無効/判決理由の骨子
1973	3	21	朝日+	多くの市民は複雑な表情、店続けられるかと心配、もどっては来ない正月、行政の責任も問わねば、明るい印象回復したい、患者の彼岸花悲し/
1973	3	21	朝日+	県民の反響、私なら耐えられぬ、企業の自己規制を、判決は当然と思う、安心できる漁場に、ヘドロ処理を要求、問題はまだ尾引く、怠慢な行政ただせ、はっきりした犯罪、何か娘売ったよう、これからも闘いが、交渉で社長と対決
1973	3	21	東京	白目よそに、いったいつまで/チッソ本社前の“攻防”に周辺は一/“仕事にならぬ”迷惑がる同居会社、いやがる女子社員/「理解してるはず」、チッソ/鉄格子とるまで、闘いはこれからといきまくテント側
1973	3	21	東京	永遠の“生き地獄”/水俣病、3代の悲劇
1973	3	21	東京	ショック隠せずしどろもどろ/チッソ社長、東京で記者会見/社宅を売っても補償、水俣工場は
1973	3	21	東京	水俣判決どう受け止める/座談会/食い止めよ列島総汚染、手ぬるい国、自治体の責任追及、治療には限界、福祉が最大課題/ランクづけの根拠わからぬ、決して地域的事件ではない、企業は払えなくても、国はあまりにも無知だった、無責任な発言企業が利用/出席者/
1973	3	21	東京+	東京都公害研究所長・戒能通孝氏、東大教授・白木博次氏
1973	3	21	読売	水俣病、患者側が勝訴、112人に賠償9億3千7百万円/チッソに過失責任、熊本地裁、最高千八百万円、汚悪水論の趣旨認める/近親者26人は棄却/政治に油断あった、三木長官反省表明/苦しみを聞き入れてくれた、根本的解決は政治の手で

1973	3	21	読売	勝った.....だが晴れぬ怨念/「両親ば返せ...」遺影を抱いて絶句、浜元さん/患者、涙で無言の抗議/「闘いはこれから」廷外では熱気の集会/調停派に口にぐす、チッソ久我常務「社長帰京」の一点ばり
1973	3	21	読売	パンザイなき勝訴、体はもとに戻らない/繁栄の踏み台、消えぬ怒り、行政責任も大きい四大公害、被害者は語る/賠償金全額を支払う、利息含め11億8.000万円/補償解決これから、調停派も差額要求/公害闘争に大きな成果/
1973	3	21	読売	判決理由要旨/見舞い金契約は無効、排水への注意義務怠る/因果関係、被害の責任(過失)、見舞い金契約、消滅時効の抗弁について、損害、一部弁済の抗弁について
1973	3	21	読売	30世帯138人の損害賠償認容額
1973	3	21	読売	水俣病判決、新しい法理(公害裁判)望む、高く評価、見舞金契約の無効、今後の誠意監視し
1973	3	21	読売	厳しい判決、空港で社長と会見
1973	3	21	読売	「公害」企業に高まる危機感/チッソ、厳しい再建の道、総補償、百億円超えそう/実践で責任示そう、被害者、まず救済措置を
1973	3	21	読売	われわれ“公害列島”住民/水俣病判決座談会/もう許されぬ“日本のエゴ”、事前防止とPPP(汚染者負担原則)を、企業、政治...個人も当事者/公害対策先進国への原点に、“幸福への指標”をとり入れて/市民の声きく、準司法機関も
1973	3	21	読売	長かった企業有罪の道、水上勉
1973	3	21	読売	公害解決への契機、水俣病裁判患者側の勝利、積極的に対策推進、政府答弁、参院予算委
1973	3	21	読売	水俣操業は続ける、チッソ再建の道きびしい/企業責任を痛感、産業界反響
1973	3	21	読売	人間登場 水俣病訴訟の裁判長、斉藤次郎さん、理に走らず涙忘れず
1973	3	21	読売	社説 水俣病裁判の判決がもつ意味、企業と行政に課せられた責任、水俣悲劇を二度と繰り返
1973	3	21	読売	チッソ、全額を支払う/熊本県隠れ社長やっと記者会見、“判決、神の声として”、補償は公平に、でも、経営に限界...../怒号、支社長は土下座/渡辺さん代表やめる
1973	3	21	読売+	患者の支援津函蹴る/ヘドロ除去交渉始める認定金額の根拠示すべきだ
1973	3	21	日経	水俣から響く警鐘/望まれる積極行政、研究・治療は後手に回る/実質「刑事責任問う」判決、東大法学部教授、藤木英雄
1973	3	21	日経	罪償う道険しく/現われチッソ社長東京で会見/判決、神の声と聞く、補償は全患者に公平に/判決の全額支払う/刑事責任を再検討、熊本県警/渡辺代表が辞意、二派だけでの交渉に反対
1973	3	21	日経	姿勢正す産業界、水俣判決、逃げ腰は許されぬ、「企業の悪」の判定ははっきり
1973	3	21	日経	累積赤字に補償の重圧、チッソ、会社研究、株主優遇のメドなし、子会社の成長だけが希望、訴訟費などで百億円、大たんな資産売却で、カギ握る主力銀行
1973	3	21	日経	水俣判決をかみしめる、大規模工業基地、汚染の前に打つ手が、求められる行政指導力
1973	3	21	日経	熊本県、水俣対策班を設置、地域衛生・福祉など立案
1973	3	21	日経	水俣の“苦海”果てなく、望まれる積極行政、研究・治療遅れる、患者数すらまだ不明
1973	3	21	日経	勝訴にも心重い患者側、元には戻らぬこの体、賠償減額に表情変えず
1973	3	21	日経	公害裁判、大きく前進、原告弁護団声明/追加補償で交渉へ、一任派とチッソ
1973	3	21	日経	22日、水俣でおわび、島田社長
1973	3	21	日経	事前予防に有力証拠、家族賠償は「民事」の限界
1973	3	21	日経	社説、水俣判決を企業は真剣に受け止めよ
1973	3	21	日経	チッソ、具体提案を、三木環境庁長官が談話、48年度からヘドロ処理、行政措置の遅れ反省、通産相談話
1973	3	21	日経	記者手帳、判決きいて調子よい受け答え
1973	3	21	日経	公害行政前進の契機に、参院予算委、首相、水俣判決で答弁
1973	3	21	日経	水俣病判決理由要旨/認容額一覧
1973	3	21	日経	公害企業に厳しい制裁、水俣病はチッソの責任、熊本地裁判決、排水の過失認める、賠償は9億円余に減額、判決理由の骨子、全額支払う、チッソ
1973	3	21	毎日	水俣病、チッソに全面責任/患者側が勝訴、熊本地裁判決/許せぬ住民犠牲、環境破壊、注意義務を怠る、九億三千万円支払え/「死者千八百万円」、補償額のカベ破ったが、消せぬ患者の悲劇/見舞金契約、公序良俗に反し無効/判決理由の骨子
1973	3	21	毎日	チッソ、全額支払う
1973	3	21	毎日	根本解決は政治の責任、斉藤裁判長語る
1973	3	21	毎日	申訳けない、島田チッソ社長
1973	3	21	毎日	問われる“行政”の姿勢/許されぬ“単なる仲介者”/治療、検診、難問ばかり/もう無視できぬ住民パワー、企業の後退浮彫り/四大訴訟
1973	3	21	毎日	判決額、算定基準に/調整委、調停作業を早める/患者各派の要求強まろう
1973	3	21	毎日	公害裁判の成果、さらに前進、弁護団声明
1973	3	21	毎日	48年度からヘドロ除去、水俣病、政府、調停努力も約束/“政治の油断”、反省、三木長官談
1973	3	21	毎日	定着した“企業責任論”/座談会/患者“全面救済”の道を、金銭補償だけではすまぬ/制裁の法整備急げ、公害を防ぐ訴訟が大切
1973	3	21	毎日	請求・認容額一覧
1973	3	21	毎日	モラル引締めよう、財界反響、公害裁判は争えぬ
1973	3	21	毎日	「今後の補償総額見当もつかない」頭かかえるチッソ
1973	3	21	毎日	水俣病裁判の判決、要旨/化学工場には高度の注意義務、チッソ、適切な措置はゼロ、無知に乗じた見舞金契約、信義則に反す会社の態度、他例に比べて極端な低額、一家破滅の危険にさらす、会社の実験隠匿が被害増大、慰謝料算定には見舞金考慮
1973	3	21	毎日	街角の人にも涙/水俣病、判決聞いて、各界の声/温かく今後見守る、主婦、水俣市長、新段階迎え献身的に/山積した問題と取組む、企業への態度きびしく、最後まで患者の世話を、労働者へしわよせ反対、明るい町づくり考える、忘れられぬにがい経験、役員会開いて公調委へ/
1973	3	21	毎日	「そっとしておいて」、収容児いたわる指導員/その日の明水園、重度身障者収容施設
1973	3	21	毎日	発生県の責任痛感、県議会が超党派で決議

1973	3	21	毎日	水俣病判決/原告の闘いに拍手、「同じ苦しみ」他派の患者/他派に補償引上げの動き、患者/チッソの将来心配する声も、水明会など/仕事も手につかぬ社員たち、会社/心ないなぐり合い
1973	3	21	毎日	“宝子”に判決は聞こえぬ/「母さん」と甘えておくれ/16年、智子は何を、“胎児性”の苦し
1973	3	21	毎日	これからも支援を、報告集会、患者ら力強いあいさつ
1973	3	21	毎日	刑事責任を検討、熊本県警、立証はむずかしい?
1973	3	21	毎日	県が使った水俣病対策費、チッソに請求、熊本県知事語る
1973	3	21	毎日	その朝、しみじみと、“水俣病告発”の入鹿山教授
1973	3	21	毎日	チッソ本社前で抗議デモ
1973	3	21	毎日	社会復帰センター建設に協力を、設立委が声明
1973	3	21	毎日	なお「怨念」晴れず/水俣仮執行/怒りの声に土下座、山根支社長、「今後は湾を汚さぬ」
1973	3	21	毎日	この手足、元に戻らぬ、判決の一瞬、患者らひんやり/廷内/廷外、償いにならん、退廷の患
1973	3	21	毎日	生き供養、判決を聞いて、石牟礼道子
1973	3	21	毎日	住民の不安解消へ、県、水俣地域、総合対策班スタート
1973	3	21	毎日	“死の海”ある限り/(写真)/姉さんの遺影と共に、「闘いはこれからだ」、苦しみは続く、支援、沈痛
1973	3	21	毎日	社説 水俣病判決で公害病は終わらない
1973	3	21	毎日(東京)	四大裁判の患者勝訴/公害企業後退くっきり/意識大きく変わる、厳しい世論に押されて
1973	3	21	毎日(東)	チッソ政府は責任果たせ、水俣判決・野党が議話
1973	3	21	毎日(東)	水俣病判決/苦悶する化学業界/「公害は引合わぬ」、防止技術開発に全力
1973	3	21	毎日(東)	参院予算委
1973	3	21	毎日(東)	来月中旬に数値決定、まず水俣からヘドロ除去、環境庁
1973	3	21	毎日(東)	ヒトクチ漫画 「人を殺しても金払えばいいの?」
1973	3	21	毎日(東)	社説 水俣判決で公害病は終わらない
1973	3	21	毎日+	支援へ団結を、高校生、さすが大きい市民の関心
1973	3	22	朝日	チッソ社長、謝る、水俣病患者、本社で直接交渉
1973	3	22	熊日	契約書めぐり対立、社長が押印拒否、難航の東京初交渉、水俣病
1973	3	22	熊日	<電話で話そう、ハイ・こちら編集局>「水俣病判決」に寄せて/政治に強い疑問、魚も貝も
1973	3	22	毎日	水俣病患者らチッソと交渉/「補償、できる限り」、歯切れ悪い島田社長
1973	3	22	毎日	渡辺代表が辞意を表明
1973	3	23	朝日	水俣の悲劇繰返すな、一斉に公害授業、非組合員の教師も参加、熊本県教組
1973	3	23	朝日	国として出来る限りを尽す、三木長官、水俣病対策で約束
1973	3	23	朝日	チッソ、「誓約書」に署名、水俣病直接交渉、「被害すべて償う」、社長、患者らに迫り及され
1973	3	23	朝日	水俣での話し合いを断念、引返した島田社長
1973	3	23	朝日	判決との差額要求へ、一任派、きょう臨時総会
1973	3	23	朝日	質問し児童と討論、県教組の公害一斉授業、正しい理解を求める、他県の公害の詩も引用
1973	3	23	朝日	魚介類にメチル水銀、熊本県の緑川河口、水俣湾なみの汚染
1973	3	23	朝日	銀行、もみ手攻撃、水俣病補償金、預金の勧誘に懸念
1973	3	23	朝日	声 刑事責任追及せよ、水俣病に著しい犯罪性、行政にも責任判決を生かせ、国民の命守る姿勢を、水俣病の方々ががんばって、少ない賠償、「億単位」が当然、受難の歴史に一ページ
1973	3	23	朝日	水俣病判決のあとに(中) 企業は変身したか、本音は“自己保存”、印象悪化避ける控訴放棄、「峠を越す」の認識、免罪符になる心配、“公害輸出”を警戒
1973	3	23	朝日	<標的>切り捨てを許すな
1973	3	23	朝日	本社交渉が遅れる、水俣病上京団会場でもめる/チッソ社長と近く会談、環境庁長官「対策聞きたい」
1973	3	23	朝日	チッソ社長を喚問、参院予算委、補償問題など説明
1973	3	23	朝日(東京)	水俣病/全被害を償うと契約、チッソ社長が署名、押印/一応確立された相互信頼、訴訟派以外は症状に応じて/生活保障など協力、環境庁官、支援団体に約束
1973	3	23	朝日(東京)	有明海、水俣汚染?熊本県の調査、日本合成の排水か
1973	3	23	朝日(東京)	<声>水俣病判決について/判決の教訓を今後生かせ、行政当局に警告と受止めよ、生命を公害から守る運動を、水俣病療養所の設立が必要、チッソの刑事責任追及せよ
1973	3	23	朝日(東京)	チッソ社長と近く会談、環境庁長官「対策聞きたい」
1973	3	23	熊日	苦しみいつまで、水俣病の田中さん、“賠償金、ゼロ同然”、帰らぬ夫、積もる借金返済で、行商にも不自由な体
1973	3	23	熊日	確定した四大公害訴訟、企業の姿勢転換迫る、反公害へ新たな広がり
1973	3	23	熊日	緑川河口沖の魚介類、メチル水銀で汚染、アサリ、水俣並み、「合成が流した」疑い濃厚、県・熊大の調査
1973	3	23	熊日	水俣病判決は出たが...、依然残る多くの問題、患者、家族に温い支援を、惨禍を貴い教訓に、早急な公害追放を期待
1973	3	23	熊日	文集にも怨念のウズ、水俣・袋中の「はまゆう」、「母の足を元に戻せ」、底知れぬ将来への不安
1973	3	23	熊日	怒号の5時間、チッソ本社、“誠意で署名しろ”、詰め寄る患者ら、社長ついに屈服
1973	3	23	熊日	チッソ“完全補償”のむ、水俣病患者が直接交渉、契約書にサイン、社長、土下座して謝る
1973	3	23	熊日	一任派きょう総会、補償差額要求で詰め
1973	3	23	熊日	県下一斉に公害授業、県教組、水俣病判決を主題に、地元の袋中、スライドに食入る目
1973	3	23	熊日	県警に公害Gメン、県議会文教治安委、馬渡本部長が言明
1973	3	23	熊日	“補償金ゼロ同然”、帰らぬ夫、積もる借金返済で/行商にも不自由な体
1973	3	23	熊日	交渉場所でもた紛糾、患者、会社の第二回交渉
1973	3	23	熊日	契約書の完全履行を、三木環境庁長官、近く島田社長に要請
1973	3	23	熊日	水俣病で政府に要望、治療法解明など、沢田知事が上京
1973	3	23	熊日	水俣病裁判に思う/気の毒な胎児性患者、市民みんなを守る、つらかったでしょう患者さん

1973	3	23	熊日	< 応接間 > 新潮文化講演会に講師として来熊した辻邦生氏、江藤淳氏 “水俣病” に顔くもらす
1973	3	23	サンケイ(東)	2日目も空転、鉄格子で紛糾、水俣病、「すべての償い」交渉/ 島田社長に契約の履行要望、来週にも三木長官
1973	3	23	西日本	宇土沖でも水銀、熊本県が検出、アサリ貝から0.081ppm
1973	3	23	西日本	「すべての償いを実行」、島田チッソ社長、誓約書にサイン、患者要求をのむ、延々5時間もねばり、水俣病、きょうから具体的交渉
1973	3	23	西日本	水俣病に「公害授業」、一斉に熊本県下の小中学校、人の命の尊さを教える
1973	3	23	西日本	チッソ社長が土下座、うながされハッと、本社交渉、待ちわびた患者の前で
1973	3	23	西日本	一任派、水俣できょう総会
1973	3	23	西日本	水俣病判決、そのあとにくるもの(2) わが痛み、あなた自身に問う、公害に第三者はない、翌日の列車内で、もう騒がんでくれ、変わる市民意識、ひとこと言いたい
1973	3	23	西日本	万歳は叫べない、「四大公害」勝訴の陰で(2) 今日も煙が、「空気はきれいにならん」、その後もふえる公害患
1973	3	23	西日本	水俣病対策、国の援助をぜひ、知事、環境庁長官と直談判
1973	3	23	西日本	< 水俣病判決、そのあとにくるもの(2) > わが痛み/あなた自身に問う、公害に第三者はない
1973	3	23	日経	チッソはどうなる(中) 新しい「経済力」が必要、水俣を生き返すために
1973	3	23	日経	通産省、企業公害を事前防止、工場排水を総点検
1973	3	23	日経	水俣病、チッソと直接交渉、社長、誓約書に署名、患者・家族の要求認める/医療体制を十分に、連絡会議要望
1973	3	23	毎日	読者の広場 “水俣判決”に思う、“公害日本”に対する審判、企業は反省を、政府は責任を、フッ素化合物に潜む危険性
1973	3	23	毎日	苦悶する化学業界、水俣病判決、「公害は引合わぬ」、防止技術開発に全力、「事前評価」強化など、通産省、汚染防止に三つの柱
1973	3	23	毎日	水俣病補償すべて実行、チッソ社長、誓約書に署名、上京患者が直接交渉、五時間の追及の末、きょうから具体内容で交渉
1973	3	23	毎日	水俣病一任派、「差額」要求決定へ
1973	3	23	毎日	問題はこれから、水俣判決後になすべき事を、熊本の小中学校
1973	3	23	毎日	渡辺訴訟派代表が辞意
1973	3	23	毎日	テレビにクギづけ、「社長わびる」に水俣の患者ら、「いまさら遅い」、「誠意」に強い疑惑
1973	3	23	毎日	水俣病交渉/補償契約に押印、紛糾6時間、社長、土下座して謝る
1973	3	23	毎日	水俣工場の操業続行、島田社長語る
1973	3	23	毎日	“水俣判決”に思う/ “公害日本”に対する審判、企業は反省を政府は責任を
1973	3	23	毎日	渡辺訴訟派代表が辞意
1973	3	23	毎日	熊本の小中学校、問題はこれから、水俣判決後になすべき事を
1973	3	23	毎日	鉄格子を取り払う、チッソ、水俣病患者の要求で
1973	3	23	毎日	環境庁も保証取付け、水俣病の償い、三木長官、来週社長呼ぶ/参院委で島田社長を追及
1973	3	23	毎日	公害裁判と環境行政/規制法の法理の大転換を/未然防止の必要性痛感/企業秘密を犠牲にしてもやむをえぬ(原田尚彦 = 東大助教授・法学)
1973	3	23	毎日(熊本)	水俣病に国の積極的対策を、治療法の解明など、知事がきょう上京、三木長官に要望書
1973	3	23	毎日(熊本)	怨念の深さ、しみじみ、水俣取材を終えて
1973	3	23	読売	水俣病まだ終わらぬ、公害授業、児童、厳しい答え
1973	3	23	読売	文化 四大公害裁判によって問われるもの、新しい法理論創造、産業保護から市民保護へ
1973	3	23	読売	「水俣には住みたくない」牛島さんら離郷、“静かな毎日”望んで、牛島直さん夫妻、渡辺保さん一家
1973	3	23	読売	水俣病責任、チッソ「誓約書」に署名、上京の患者、社長と談判
1973	3	23	読売	水俣病判決の補償金配分、東京交渉後に決定
1973	3	23	読売	汚悪水論なぜ認めぬ、依然続く企業の環境破壊/患者の苦悩は消えない、チッソの態度監視しよう
1973	3	24	朝日	判決なみの補償要求、水俣病一任派、チッソも交渉に応ず、国に水俣病対策要望で上京、熊本県知事
1973	3	24	朝日	どうなる戸惑う地元、緑川河口のメチル水銀検出、アサリ大幅値下り、漁協事務所に怒りの顔
1973	3	24	朝日	社宅、発電所売っても、水俣病補償などでチッソの考え、「倒産、絶対せぬ」と強調、公平な補償、予想される新患者への補償、水銀ヘドロ処理、チッソの支払い、
1973	3	24	朝日	水俣病対策で県に申入書、社党県本部
1973	3	24	朝日	水俣病判決のあとに(下) 公害からの転換、生産・消費抑えよ、発生源で食止めは可能/不完全だった規制、やっと事前予防へ、要は頭の切り替え
1973	3	24	朝日	チッソ社長、国会で謝罪、水俣撤退考えぬ、社長代っても、誓約は不変、参院予算委
1973	3	24	朝日	中曽根発言に怒り、傍聴の患者ら、質疑のあり方も批判
1973	3	24	朝日	直接交渉、やっと鉄格子撤去、誓約書もとに話し合い
1973	3	24	朝日	“拒絶の鉄格子”を撤去、チッソ本社、交渉は早くも難航
1973	3	24	朝日	歯切れの悪い参院の島田社長
1973	3	24	朝日	国に水俣病対策要望で上京、熊本県知事
1973	3	24	朝日	< 今週の声から > (水俣病判決について)
1973	3	24	朝日(東京)	< 水俣病判決のあとに(下) > 事前予防できるはず、消費含めた青写真を、公害からの転換、悩みのヘドロ退治、実力行使した住民、足踏みの総量規制、共同で転換の道を
1973	3	24	朝日(東京)	水俣病研究政府も努力、三木長官約束
1973	3	24	熊日	水俣病直接交渉、双方、真っ向から対立、患者側“まず医療費”、社側は「一括要求」譲らず
1973	3	24	熊日	怨念の鉄トビラ撤去、1年2ヵ月ぶり、チッソ“誠意のあかし”?
1973	3	24	熊日	“判決なみ補償を”、水俣病一任派、きょうから差額交渉
1973	3	24	熊日	“一千万円の壁”は破れたが...、水俣病判決が解決し得なかったもの(上)、休息なき患者たち、生きるため新たな闘い、怨みから反公害へ
1973	3	24	熊日	各派患者の補償急ぐ、島田チッソ社長、参院で答弁、三、四ヵ月内に解決、判決の金額基準に、三木長官の派遣も、首相語る、森中氏、激しく追及
1973	3	24	熊日	公害対策で申入れ、社会党県本部が知事に
1973	3	24	熊日	社説 一つの前進は始まったが...、 - 水俣病判決以後 - 中心はやはり患者、水俣市の問題、心の問題

1973	3	24	熊日	読者の広場 水俣病判決の意義、科学の責任を再認識、老廃物の処理に全力を、公害追放に総力、我々は傍観者ではない、日本人の欠点が水俣病招く、行政の姿勢を正せ、第二の“水俣”出さぬため、“たちの悪い金属類投棄物”
1973	3	24	熊日	“判決基準に早く補償を”、態度保留の十八人
1973	3	24	熊日	政府、水俣病対策を一元化/三木長官、沢田知事に言明/患者要求取り入れ、検診地域も広げる
1973	3	24	熊日	すれ違いの15時間交渉、水俣病/患者、ダンマリ戦術、“企業の壁”、にゴウ煮やし/チッソ本社
1973	3	24	東京	深夜、交渉打ち切る、補償案めぐり難航、きょう再開
1973	3	24	東京	怨念が焼き切る、チッソ本社、鉄格子しづしづ撤去
1973	3	24	西日本	チッソ、鉄格子はずす、水俣病東京交渉、介添え手当てを、療養問題、患者側7項目を要求
1973	3	24	西日本	チッソ本社の鉄格子を解体/除かれた“断絶”のカベ、はたして誠意なのか、「記念に1本」と患者たち
1973	3	24	西日本	差額補償申入れへ、水俣病一任派、
1973	3	24	西日本	島田社長、国会でも陳謝、“水俣撤退考えぬ”、補償、患者一律支払いに難色
1973	3	24	西日本	<水俣病判決、そのあとにくるもの(3)>もう一つのこの世/“信頼の場”、求めて/同情や善意ほしくない
1973	3	24	日経	チッソはどうなる(下) 生きるか、悲痛な教訓、企業と社会の真の調和
1973	3	24	日経	「患者さまに福祉工場」、チッソ社長、国会でも頭下げる/鉄格子はずし交渉、チッソ
1973	3	24	毎日	チッソ社長 “誓約”、水俣病、「患者に償い果たす」/年金やヘドロ除去など要求、水俣病患者側
1973	3	24	毎日	鉄格子は取払ったが・・・チッソ/通院費などは難色
1973	3	24	毎日	水俣病/判決と差額要求、一任派、きょうから交渉
1973	3	24	毎日	三木長官、近く水俣を視察、ヘドロ処理指揮
1973	3	24	毎日	各国に大きな反響、水俣判決、「汚染日本、他山の石に」
1973	3	24	毎日	<万歳は叫べない、「四大公害」勝訴の陰で(3)>射るような目、逃れて/流民
1973	3	24	毎日	水俣病治療に最善の対策、三木長官が約束
1973	3	24	読売	政府も責任の一端、水俣病、謙虚に反省せよ
1973	3	24	読売	チッソの鉄格子はずす、直接交渉2日目、おむつ手当など要求
1973	3	24	読売	水俣病調印派、差額求め/きょう現地交渉
1973	3	24	読売	チッソ社長国会で謝罪/「誓約は恒久的なもの」、参院予算委に出席/ふくらむ補償に心配気
1973	3	24	読売	県公害白書/切実さが無い、未然防止できる
1973	3	25	朝日	政府も最善の処理、三木長官表明、水俣病治療と研究
1973	3	25	朝日	判決との差額払う、一任派へ、中間派へ、新認定患者にも補償、支社で回答
1973	3	25	朝日	熊本県も構想練直し取組む、沢田知事語る
1973	3	25	朝日	期待と不安交錯の現地
1973	3	25	朝日	かみ合わず、直接交渉
1973	3	25	朝日	社員、記者に暴行、記者クラブがチッソに抗議
1973	3	25	朝日	治療費でも進展せず、チッソ、訴訟派らとの交渉/中間派も交渉、水俣支社/一任派には差額、チッソ提案
1973	3	25	朝日	多角的な研究必要/水俣病/学者ら三木長官に進言
1973	3	25	朝日	<声>八代海から水俣病判決思う
1973	3	25	朝日(東京)	療養費でも進展せず、チッソ、訴訟派らとの交渉/一任派には差額、チッソ提案/中間派も交渉、水俣支社
1973	3	25	熊日	未認定患者(故山田善蔵さん)に1800万円、涙の訴えにガックリ、島田社長、支払いを約束、チッソ、初めて譲歩
1973	3	25	熊日	“主人に冥土の土産”、頭下げ喜ぶ妻・ハルさん
1973	3	25	熊日	“一任派には差額を”現地交渉はじまる、チッソ、文書で確約
1973	3	25	熊日	記者暴行でチッソに厳重抗議、重工記者クラブと共同通信
1973	3	25	熊日	水俣病対策を一元化、政府、患者要求取り入れ、三木長官が言明、検診地域も広げる
1973	3	25	熊日	“判決基準に早く補償を”、態度保留の十八人
1973	3	25	熊日	“早急に研究機関を”、官房長官、知事に意向示す
1973	3	25	熊日	“一千万円の壁”は破れたが...、水俣病判決が解決し得なかったもの(中)、変わらぬ“城下町”、チッソがつぶれては...、あまりにも忠実な市民/変わらぬ“城下町”、/「正直者がバカみる」/“早期円満”の旗印/チッソを許したものの
1973	3	25	熊日	「治療に抜本的対策」、三木長官、二学者から意見を聞く
1973	3	25	熊日	<耳袋>(水俣病判決がおりて)
1973	3	25	東京	一任派補償も判決並/差額支払い約束、チッソ、初交渉で回答/患者が逆に“土下座”、チッソの直接交渉再開、要求の一つは通る
1973	3	25	東京	“隠れ水俣病”の救済など、三木長官、学者の知恵拝借
1973	3	25	西日本	救いにならぬ水俣病判決、生命の原点考え直そう
1973	3	25	西日本	水俣病判決、そのあとにくるもの(4) 開かれた施設、患者を囲い込むな、“収容”だけでは救えない、感謝料ゼロ、明水園はイヤ、運営だけで精一杯、福祉の根源に迫る
1973	3	25	西日本	春秋 チッソ本社の鉄格子
1973	3	25	西日本	水俣病など克明に、県が初の公害白書
1973	3	25	西日本	差額支払う、チッソ、一任派に約束、未認定患者(分離審理の故山田さん)にも、東京交渉でチッソが“特例”
1973	3	25	西日本	水俣病、国が医療機関作る、官房長官、沢田知事に確約
1973	3	25	西日本	取材記者に暴行、重工記者クラブなどチッソに厳重抗議
1973	3	25	日経	水俣病で九項目要求、熊本県知事、三木長官に/ヘドロ処理など政府の協力求む、官房長官とも会談
1973	3	25	日経	態度保留派も補償を要求、水俣病交渉
1973	3	25	日経	記者への暴行チッソに抗議、共同通信
1973	3	25	毎日	万歳は叫べない、「四大公害」勝訴の陰で(4) 患者と共に、やむにやまれぬ、人間としての闘い
1973	3	25	毎日	水俣病、補償金、判決基準に、中間派もチッソに申入れ、訴訟派交渉は難航
1973	3	25	毎日	検診範囲広げる、三木長官約束
1973	3	25	毎日	「差額支払う」と回答書、チッソ、水俣病一任派に
1973	3	25	毎日	水俣・未認定患者遺族に、判決と同額支払う/チッソ社長言明/一任派には差額約束/「判決基準に補償金支払え」、中間派も申入れ
1973	3	25	毎日	取材記者暴行でチッソ社長に抗議

1973	3	25	読売	水俣病、国が治療センター、三木長官が新設約束、患者の希望取り入れ
1973	3	25	読売	調印派に差額払う、保留派とも初交渉、チッソ支社が回答
1973	3	25	読売	患者も土下座、本社交渉、押し問答続く
1973	3	25	読売	要請なければ補償介入せず、三木長官
1973	3	25	読売	失政が生んだ水俣病、公害絶滅へ全力注げ
1973	3	25	読売	ニュースレポート、7年半のわが水俣病、取材中に汚染される、責任重いチッソと行政
1973	3	25	読売	水俣病対策、“全面協力”にホッと、三木長官と会談の沢田知事
1973	3	25	読売	分離審理の山田さん、月内に補償金、島田社長語る
1973	3	26	朝日	自主交渉派も判決額を、チッソに要求、調停派あす総会
1973	3	26	朝日	調停派あす総会
1973	3	26	朝日	公害はまだ防げる、県が白書
1973	3	26	朝日	救われぬ水俣の悲劇、水俣病判決と闘いの特異性/「苦」認め「難」を認めず、「利」をはかる闘いこそ退廃、前田利彦
1973	3	26	朝日(東京)	<週間報告、3月18日～3月24日> 社会、水俣病裁判、患者側勝訴
1973	3	26	朝日(東京)	<標的>問題の本質
1973	3	26	朝日(東京)	死者に1800万円補償、水俣病新認定の2人、チッソが約束
1973	3	26	熊日	“一千万円の壁”は破れたが...、水俣病判決が解決し得なかったもの(下)、問われる行政責任、積極策待つ患者たち、ヘドロ処理、早急に
1973	3	26	熊日	社説 水俣病の二の舞踏むな、- 緑川河口の水銀汚染-
1973	3	26	熊日	全患者への補償迫る、水俣病新認定、チッソ、28日に回答、直接交渉/公調委とも協議か/判決を基準にして、調停派、公調委に申し入れへ
1973	3	26	熊日	“判決を基準にして”、調停派、公調委に申し入れ
1973	3	26	熊日	<文化> 公害問題と裁判/水俣病判決を聞いて、河合研一/自ら切り開いた道、反公害運動の金字塔/チッソの地域支配覆す/最後の手段だった訴訟/判決の有効性と発展性/公害問題の核心に迫る
1973	3	26	熊日	チッソ徹夜交渉で折れる/死亡した二新認定患者、千八百万円支払う、東京本社/一瞬、ウズ巻く笑い
1973	3	26	東京	判決並み補償約束、水俣病死亡新認定患者、18時間の徹夜交渉で決着
1973	3	26	東京	直接交渉かみ合わず、チッソ
1973	3	26	西日本	金の無力さを痛感、水俣判決、県や国にも制裁を
1973	3	26	西日本	取材記者暴行でチッソ社長に抗議
1973	3	26	西日本	水俣・未認定患者遺族に、判決と同額払う、チッソ社長声明
1973	3	26	西日本	新認定の調停派があす臨時総会
1973	3	26	西日本	水俣病判決、そのあとにくるもの(5) 償いの誓約/思い上がりを正せ、今こそ姿勢転換のとき/ポーズだけの自信、色あせた“支配者”、必要な新しい行動、相互信頼の確立を
1973	3	26	西日本	東京交渉、再び空転、チッソ社長、患者側の要求を拒む
1973	3	26	西日本	価値観への告発、山本茂雄編、愛したがる生命頂いて/苦海の“怨念”を訴え、塩田武史写真報告、「水俣」68 - 72深き淵より
1973	3	26	日経	判決並み補償約束、チッソ、認定前死亡の一人に、一任派にも差額補償
1973	3	26	毎日	万歳は叫べない、「四大公害」勝訴の陰で(5) 影武者たち、地獄の底までつき合う
1973	3	26	毎日	<読者の広場> 土下座させて何になる
1973	3	26	毎日	水俣・未認定患者遺族に、判決と同額払う、チッソ社長声明/新認定の調停派があす臨時総会
1973	3	26	毎日	<読書> 流民の都/石牟礼道子著/裁判に勝っても、水俣の怨念を熊本弁で
1973	3	26	毎日(東京)	患者、次々苦しみ訴え、水俣病補償交渉つづく
1973	3	26	読売	チッソ回答、分離公判中の一遺族に、判決なみ補償払う、山田さんが道開く、患者が作文読ませ追及、交渉4日目
1973	3	26	読売	あす臨時総会、水俣病新互助会
1973	3	26	読売	子供の作文を読む、島田社長、患者の要求で、チッソ交渉4日目
1973	3	27	朝日	新認定の死亡2患者、判決なみの1800万円、水俣病、チッソ、補償約束
1973	3	27	朝日	69人目の死者、認定患者
1973	3	27	朝日	不知火海沿岸一帯の住民検診やりたい、三木長官答弁、参院予算委
1973	3	27	朝日	開発の夢と公害の悲惨さ
1973	3	27	朝日(東)	未認定患者の遺族へ支払い、チッソ、千八百万円
1973	3	27	朝日(東)	<今日の問題> 水俣・巡礼への誘い
1973	3	27	熊日	補償差別撤廃に突破口、水俣病交渉の五日間、患者側の粘り奏功、チッソ首脳、対策に苦慮
1973	3	27	熊日	久しぶりに“熟睡”、明るい表情の患者たち
1973	3	27	熊日	水銀汚染にがく然
1973	3	27	熊日	閉そく性呼吸器疾患、被患率最高は水俣市、県公害対策課、汚染関連は調査待ち
1973	3	27	熊日	チッソ、徹夜交渉で折れる、死亡した二新認定患者、千八百万円支払う、東京本社、一瞬、ウズ巻く笑い
1973	3	27	熊日	山田さんの遺族に1800万円払う、チッソ
1973	3	27	熊日	水俣病患者また一人死亡、69人目
1973	3	27	熊日	<読者の広場> 水俣病への無関心恥じる、痛ましい同年の胎児性患者/水俣の二の舞はご免、緑川河口、汚染対策、一日も早く
1973	3	27	熊日	「漁獲禁止できぬ」県当局、県議会公害対策委、緑川河口汚染で質疑
1973	3	27	熊日	水俣病、政府にも責任
1973	3	27	熊日	水俣・深き淵より塩田武史写真報告/切々、患者との“出会い”
1973	3	27	熊日	<きょうの発言> 判決とマスコミ(原田正純 = 熊大助教授)
1973	3	27	熊日	来月中旬に水俣視察、三木長官談
1973	3	27	東京	“怨念”との5日間/島田チッソ社長の“顔”を追う/複雑な胸中浮き彫り、苦悩と強気が交錯... “休戦”で笑顔/死亡の元社員の妻に賠償金払う/告訴あれば捜査、刑事責任で政府
1973	3	27	西日本	新認定患者にも1800万円、チッソ仮払い約束、水俣病東京交渉、死亡の2家族、全賠償責任は社側に、三木長官、参院予算委で強調
1973	3	27	西日本	山田さんの遺族に千八百万円支払う

1973	3	27	西日本	水俣病判決、そのあとにくるもの(6) 労働者の反省、めざす“真の革新”、人間尊重の立場で、待ち受ける首切り、ジレンマに悩む、自分かわいさ、組織を乗り越える
1973	3	27	西日本	チッソ、逃げの一手、休戦に入った東京交渉、不信強める患者側、きょう総会、調停派と第2次訴訟派
1973	3	27	西日本	また水俣病患者死ぬ、69人目の犠牲者
1973	3	27	西日本	多いゼンソク患者、熊本県がデータ公表、青年団体調査裏づけ、水俣
1973	3	27	西日本	犯人は日本合成、熊本県が見解、宇土沖の水銀汚染
1973	3	27	日経	新認定患者も判決並みに、二家族へ補償約束、チッソ
1973	3	27	毎日	チッソ補償、“新認定”も同等、二死者に判決金額を約束
1973	3	27	毎日	緑川川口(有明海)に高メチル水銀、日本合成化学がたれ流す、水俣湾しのぐ魚介も、県が議会に報告、汚染海域、早急調査へ、熊本
1973	3	27	毎日	自主交渉派への死者補償、「一步前進」と評価、水俣病新認定患者
1973	3	27	毎日	水俣病患者、69人目の死者
1973	3	27	毎日	工場付近に多い呼吸器疾患、八代など三市の健康調査、大気汚染との関連究明へ
1973	3	27	毎日	水俣病で政治責任追及/参院予算委、二、三億円献金したら、公害認定はずす、元閣僚、チッソに持ちかけ/和田氏(社)が暴露
1973	3	27	毎日	初の県公害白書できる
1973	3	27	毎日	訴訟派なみ補償チッソに要求、新認定・調停派
1973	3	27	読売	死者1800万円、新認定患者も判決通り、チッソやっと約束、19時間の徹夜交渉
1973	3	27	読売	「主人の命がこれだけ」、山田ハルさんに補償金、判決前に初めて払う
1973	3	27	読売	69人目の死者
1973	3	27	読売	世界の論詰 ミナマタは無知の典型
1973	3	27	読売	八代、荒尾、水俣の大気汚染地区、やはり呼吸系患者多い、県の調査結果
1973	3	28	朝日	声 チッソの内部告発にも感謝を、公害原因追求資金を外国にあおぐな
1973	3	28	朝日	水俣病難航する直接交渉、きょう再開、会社に「基本方針なし」、補償、療養費など未解決
1973	3	28	朝日	訴訟派並みを要求、チッソへ申入れへ、調停派が臨時総会
1973	3	28	朝日	未認定患者へ初の補償、チッソ、千八百万円支払う
1973	3	28	朝日	今日の問題 水俣、巡礼への誘い
1973	3	28	熊日	直接交渉きょう再開、水俣病補償、注目されるチッソ案
1973	3	28	熊日	東京交渉に加わる、調停派の二人、公調委に不信感
1973	3	28	熊日	来月中に水俣視察、三木長官談
1973	3	28	熊日	判決なみの調停案を、水俣病の新互助会、来月初め代表が上京
1973	3	28	熊日	関係者の責任立証が必要、刑事責任で警察庁が見解
1973	3	28	西日本	水俣病判決、そのあとにくるもの(7) 学者の責任/産学協同で腐れ縁、猛省必要な“専門バカ”、権威主義への批判、厚顔でヘンシーン、ゆ着 - その“病巣”、閉鎖的ゆえの原罪
1973	3	28	西日本	水俣病の刑事責任で追及、衆院公害・環境特別委
1973	3	28	西日本	来月中に水俣市を視察、三木長官語る
1973	3	28	西日本	交渉の疲れ押し街頭カンパ、東京の水俣病患者
1973	3	28	西日本	判決並みの補償案を、調停派決定、チッソにも要求
1973	3	28	西日本	調停派二人が“脱退”、自主交渉派に、公調委に不信感
1973	3	28	日経	判決並み補償きょうにも要望、水俣病調停派
1973	3	28	日経	山田さんの遺族に千八百万円支払う、チッソ
1973	3	28	毎日	読者の広場 第三者には触れ得ぬ「土下座」、止揚されるべき日本の風土、チッソ支持学者はどうした、何がそうさせたか考えよう、私は“思い上がり”がイヤ
1973	3	28	毎日	水俣病/二、三億円政治献金したら、公害認定はずす/元閣僚が持ちかけ、参院予算委で和田氏(社)暴露/和田静夫氏の話
1973	3	28	毎日	刑事責任追及は困難、警察庁答弁
1973	3	28	読売	水俣湾、ヘドロ水域埋立て、三木長官、運輸省に要請
1973	3	28	読売	水俣病新互助会171人、判決なみ補償要求/調停派脱退の2人、直接交渉に参加
1973	3	29	朝日	自主交渉派患者にも、判決並みの補償、チッソ回答、「ランク付け」に反発、拒否、患者側、真意理解できぬ、訴訟続け交渉見守る、第二次訴訟派
1973	3	29	朝日	判決基準の補償拒否、チッソ回答に自主交渉派、「額を値切るもの」、<解説>実質伴わぬ「判決基準」
1973	3	29	朝日	訴訟は続け、交渉見守る、第二次訴訟派
1973	3	29	朝日	きょうから水俣病審査会、熊本・鹿児島両県/“17年発症”、認定が焦点、医学的に判断は困難か
1973	3	29	熊日	弁明かき消す怒号、顔ひきつらず会社首脳、チッソ交渉
1973	3	29	熊日	患者側、チッソ案を拒否、水俣病直接交渉、ランク付けのめぬ、“誠意を示せ”激しく追及、三木長官に仲介を、チッソ側三項目、仲介、まず両者の合意、三木長官語る、(解説)環境庁にランク付け求める
1973	3	29	熊日	“チッソ、四千万円払え”、患者医療費、水俣市、請求に踏み切る
1973	3	29	熊日	死亡の二新認定患者に1800万円、チッソ、家族に払う
1973	3	29	熊日	調停派患者もきょう上京
1973	3	29	熊日	仲介、まず両者の合意、三木長官語る
1973	3	29	熊日	“公序良俗”の尊重を、水俣病裁判判決に思う
1973	3	29	熊日	十五回目の、認定審査会、きょうとあす
1973	3	29	熊日	水俣病補償交渉、両者の主張と表情/怒り、時には柔らかく、チッソ資本の論理チラリ/交錯する「責任感」と「良心」、”島田語録”、あれこれ
1973	3	29	東京	補償金のワクで激論、水俣病自主交渉、両者譲らず時間切れ
1973	3	29	東京	<テレビ評>手ぬるい水俣ニュース特集
1973	3	29	西日本	チッソ、自主交渉派へ回答、判決基準に補償、患者側、ランク付け不満で拒否
1973	3	29	西日本	調停、中間派にも同回答
1973	3	29	西日本	他人ごとではない水俣病
1973	3	29	西日本	水俣病判決、そのあとにくるもの(8) 社会の中の医学、患者に学ぶ姿勢を、研究室に閉じ込めるな、業績も色あせる、一部を全体の基準に、行政と医学の共犯だ、住民の健康管理を

1973	3	29	毎日	交渉派に補償方式示す、水俣病で、チッソ、「判決基準、個別に」、ランク細分か、患者、減額図ると反発/中間調停二派も
1973	3	29	毎日	来月にも交渉再開、新潟水俣病、患者が要求へ
1973	3	29	毎日	昭和17年発症?も審査、“戦前汚染”裏付けも、きょう水俣病認定審、公調委は五月早々に調停案、内定
1973	3	29	毎日	水俣湾のヘドロ処理、チッソが全額負担を、環境庁長官が答弁
1973	3	29	毎日	青写真作り急ぐ、来月から、医療センター
1973	3	29	毎日	チッソ補償案拒否、水俣・交渉派、“個別考慮”に反発/三木長官は仲介拒否
1973	3	29	読売	きょうから86人審査、水俣病、認定、一挙に450人超す?
1973	3	29	読売	チッソに国保医療費請求、水俣市
1973	3	29	読売	斎藤裁判長が最高裁へ転出、水俣判決最後に
1973	3	29	読売	チッソ補償、「自主交渉派」も判決なみ、新認定患者に譲歩
1973	3	29	読売(東京)	<論壇時評(上)川田侃、文化>惨、労働者の水俣病告発、「近代」の洗い直し活発、“判決は虐殺後の葬式の鐘”、広がりはじめた終末感、新たな生命論の模索が
1973	3	30	朝日	年金要求を拒む、チッソ、直接交渉いぜん難航
1973	3	30	朝日	中間派死者二人にも、千八百万円仮払い約束
1973	3	30	朝日	初日は51人審査すまず、水俣病審査会
1973	3	30	朝日	直接交渉なお難航、チッソ、年金要求など拒む
1973	3	30	朝日	<標的>新しい医療運動
1973	3	30	朝日	<青鉛筆>(水俣病患者とチッソとの直接交渉)
1973	3	30	朝日(東京)	チッソが中断申出、水俣病交渉いぜん難航
1973	3	30	朝日(東京)	刑事責任問えぬ、四大公害で法相が表明、衆院予算委
1973	3	30	熊日	チッソ、中断を提案、水俣病直接交渉、患者側は激高、拒否
1973	3	30	熊日	水俣病補償交渉、両者の主張と表情、怒り、時には柔らかく、チッソ、資本の論理チラリ、交錯する「責任感」と「良心」、「島田語録」あれこれ
1973	3	30	熊日	戦前発症も対象に、水俣病認定審査会、判定に新方式を採用
1973	3	30	熊日	チッソも悔いている
1973	3	30	熊日	直接交渉が決裂/水俣病補償、チッソ、年金など拒否
1973	3	30	東京	再開、進展みられず、詰め寄る患者、社長ボソボソ/水俣病の自主交渉
1973	3	30	西日本	社長提案で激高、水俣病、平行線の自主交渉
1973	3	30	西日本	水俣病判決、そのあとにくるもの(9) 浮かばれぬ霊、死者は門前払いか、認定申請資格もなし、ほんに情けねえ、埋もれたまま死ぬ、“お上”にすぎる、このへだたり
1973	3	30	西日本	しのぶさんの苦悩の“声”、チッソ東京交渉、島田社長が朗読
1973	3	30	西日本	新方式審査始まる、水俣病認定審、86人を対象に
1973	3	30	西日本	中間派の死者2人に1800万円、チッソ、新認定の16人も
1973	3	30	日経(東京)	中断の提案ける、水俣病補償で自主交渉派
1973	3	30	毎日	水俣交渉、一時中断を、チッソ社長提案、10日ごろ現地で再開
1973	3	30	毎日	今こそ「怨」の裁きを/患者ら緊張の前夜、新たな闘いへの決意も/公害撲滅まで「やろう」、全国の仲間、大会で団結/力強く現地集会も
1973	3	30	毎日	初日は51人審査、熊本・鹿児島県水俣病審査会
1973	3	30	毎日	水俣交渉が決裂状態/治療費、年金払えぬ、島田社長が患者に回答書
1973	3	30	読売	水俣病特別委設置でもめる、県会最終日
1973	3	30	読売	「引き取って面倒みて」、交渉6回目、患者ら、チッソに迫る、保留派死者へも1800万円、チッソ約束
1973	3	30	読売	保留派死者へも1800万円、チッソ約束
1973	3	30	読売	チッソの刑事責任追及、困難だが内輪中、県警本部長県会で答弁
1973	3	31	朝日	「水俣病刑事責任追及やる」、今後論議残す、県警本部長の発言
1973	3	31	朝日	「判決以外の金出せぬ」、チッソ回答、患者側、なお交渉へ
1973	3	31	朝日	30人は保留、水俣病審査会、56人を答申
1973	3	31	朝日	水俣病交渉/きょう島田社長と会談、三木長官が約束
1973	3	31	熊日	56人の認定答申へ、水俣病認定審査会、データ不足で30人保留
1973	3	31	熊日	承認は“フロ代一円”、新認定の岩本さん、疲れでついに倒れる、水俣病交渉
1973	3	31	熊日	県市合同で水銀調査、熊本市の有明海沿岸一帯、緑川の汚染魚発見
1973	3	31	熊日	前途険しい“チッソ王国”水俣、未解決の補償、ヘドロ、銀行資本にも批判の声、遅すぎた防止協定
1973	3	31	熊日	治療費、年金払えぬ、島田社長が“縁切り状”、直接交渉は決裂、判決基準並みの補償調停を、前田さんら公調委委員長に要望
1973	3	31	熊日	“チッソは誠意がない”、患者家族、三木環境庁長官に訴え
1973	3	31	熊日	東京交渉 “再出発”、水俣病補償/チッソの軟化望み薄、患者側、厳しく追及へ
1973	3	31	熊日	判決基準並みの補償調停を、前田さんら公調委委員長に要望
1973	3	31	熊日	水俣で社長と、交渉したい、中間派患者が申入れ
1973	3	31	熊日	高千穂発電所、の処分決定、チッソ
1973	3	31	熊日	<テレビ時評、長井魁一郎>内輪の対立にも目を、水俣病裁判の放送
1973	3	31	熊日	<三月の投稿のまとめ>水俣病判決に集中、“順法”への不信感も
1973	3	31	東京	チッソが “ゼロ回答”、直接交渉、きょうから再出発/「交渉に誠意を」、三木長官、社長説得へ
1973	3	31	西日本	水俣病判決、そのあとにくるもの(10) もう一つの裁き、不完全な患者救済、受け身の政治、行政、限界がある裁判、認定制度の欠陥、患者による発掘、むなしい政府答弁
1973	3	31	西日本	チッソ交渉、暗礁に/補償金以外払えぬ、会社側、一転、強腰の回答/判決並みの調停を要望、患者、公調委に申入れ/ <解説> 長期、泥沼化の様相
1973	3	31	西日本	千六百万円の補償要求に “一円浴場へどうぞ”、社回答に患者失笑
1973	3	31	西日本	水俣病対策万全に、社党、政府に申し入れ
1973	3	31	西日本	五十六人を答申へ、水俣病認定審査会
1973	3	31	西日本	「刑事責任はむずかしい」、四大公害で田中法相
1973	3	31	日経	年金支払い決裂、チッソ交渉

1973	3	31	日経	高千穂発電所の処分決める、チッソ
1973	3	31	毎日	水銀、13年前に検出、熊本・緑川、アサリから高濃度、県議会で追及
1973	3	31	毎日	水俣交渉、チッソ、強い姿勢、「補償金以外出さぬ」島田社長が患者に回答書
1973	3	31	毎日	32人が保留に、水俣病審査終わる
1973	3	31	毎日	患者ら三木長官に助力求む
1973	3	31	毎日	中間派も社長交渉を申入れ
1973	3	31	毎日	<教室の窓から> その朝子供たち、遠藤豊吉/彼らは知っていた、彼らはだまされぬ、彼らの真実の言葉
1973	3	31	毎日(東京)	水俣交渉、きょうも、環境庁長官の意向くむ
1973	3	31	毎日(東京)	補償に全力尽くせ、三木長官、チッソ社長に要望
1973	3	31	毎日(東京)	<憂楽帳> 土下座
1973	3	31	読売	議長、田中、副議長、矢野氏、水俣病特別委設置は否決、県会終わる
1973	3	31	読売	水俣病、新たに56人認定、熊本・鹿児島両県審査会、3日答申、残り30人は“保留”
1973	3	31	読売	チッソ交渉決裂、「補償金以外出さぬ」、会社が回答書、三木長官に助力訴え
1973	3	31	読売	水俣で補償交渉参加、保留派が要請
1973	3	31	読売	<東風西風> 公害対策と学問研究
1973	3	31	読売(東京)	誠意をもって交渉を、三木長官、チッソ社長をしかる
1973	3	31	読売(東京)	補償金財源に発電所売却、チッソ